京城日報

朝刊と合せて八頁

發行所 合名會社 京城日報社

金剛山遊記

蘇峰生(日遊錄記)

八、舊萬物相より新萬物相へ

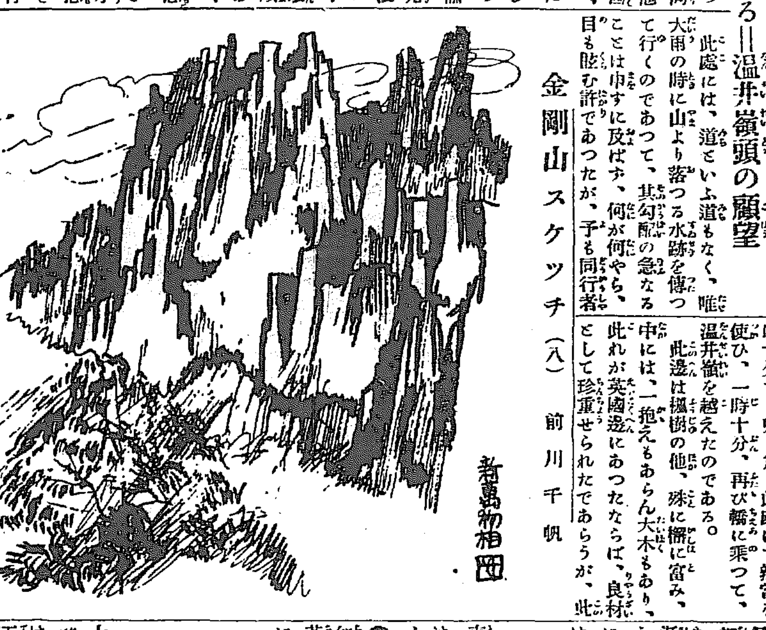
曉露途を霑す=寒霞溪=お山は晴天六根淸淨=新萬物相の險=紅黃相雜る=溫井嶺頭の顧望

十三日は午前六時出發の筈であつたが、四十五分遲れて出た。予と同行の丹羽清次郎君とは轎に乘り、他の三人、中井法學士、前川畫伯、西村生は膝栗毛である。曉露道を霑し、曉風面を吹き、身は恰も人間に觸れざる天地爽絶の大氣を快喫するが如く、頗る愉快に覺えた。一路澗に沿うて、爪先上りとなるが、鐵道では此邊を寒霞溪と名けて居る。しかし、小豆島の寒霞溪に比すれば、凡ての點に於て、此が勝つて居る。第一、小豆島の寒霞溪には、水が絕無ではないが、頗る乏しい。此處には、水が潤澤である。加之、その岩といひ、松といひ、何となく、大雅堂の畫を思ひ出さずには、居られなかつたのである。たま〳〵黑雲前頭を壓し、小雨豆の如く一二點、顔に落ちたと思ふ間もなく、軈て、黑雲は嵐に吹き拂はれて、長箭港の方角へ落ちて行つた。所謂、お山は晴天六根淸淨と云ふ場合であらう。斯くて、萬物相に著いたのは九時半であつた。こゝの茶店より、案内の男を頼み、小徑を辿りて、先づ舊萬物相を、斷崖絕壁の上より眺めた。此處は怪岩奇嵒の滿艦飾である。偶ま昨日の杖が頓に短くなり居たるに氣が附たから、篤と見れば、尖りたる石突の鋼鐵三寸許りが折れて居る。魔法嶽を壞すやら、杖の穗先を折るやら、昨日の苦行が、今更思ひやられるのである。仍りて此處でまた、櫟樹の小枝を伐り、急製の杖となし、此れにすがりて、更に谿間に下り、谷に沿うてといふよりも、寧ろ谷を踏んで進んだのである。最初はぐら〳〵する、尖りたる亂石の間を行き、軈て一枚岩の上を、水のしやら〳〵流れ行くところを過ぎ、更に左に折れて新萬物相に行くのである。

此處には、道といふ道もなく、唯大雨の時に山より落つる水跡を傳つて行くのであつて、其勾配の急なることは申すに及ばず、何が何やら、目も眩む許であつたが、予も同行者の健脚に励まされ、痩我慢を張り通して、所謂新萬物相の金剛門をくゞりたるは、十一時であつた。此處が即ち玉女峯の絶頂である。成る程、此處より見下せば、舊萬物相は愚か寒霞溪一帶の山若くは新萬物相附近の山頂も見下す許であつて、絶景と言へば絶景といふてもよからう。然かし、斯くばかりの冒險と、困難とを以て贏ち得たるものとすれば、或は少しく、物足らぬといふても宜からう。如何に其の道が險惡で、且つ急峻であつたかといふことは、下りる時に漸く氣附いたのである。實は同行の憲兵君に、手を引張られ、足を捕へられ、腰を抱かれ、這々の態にて下りたる次第で、往時の難が思ひやらるゝのである。而して、此邊の紅葉は今を盛りと照り勝り、その中を、鳴く鹿ならぬ吾等が、命からがらに下るさまは、風流とも言う可く、殺風景とも言ふ可く、何れとも見よう次第で說もつくであらう。再び舊萬物相の茅屋に到著したのは十二時四十分で、兎も角、此處にて辨當を使ひ、一時十分、再び轎に乘つて、溫井嶺を越えたのである。

此邊は楓樹の他、殊に櫟に富み、中には、一抱えもあらん大木もあり、此れが英國邊にあつたならば、良材として珍重せられたであらうが、此邊では立ちながら皮を剝がれたり、根をむしられたり、隨分虐待せられて居る。而して、其葉も、半は黃葉して、楓樹の紅葉と紅黃相雜はり、更に蒼松のその間に交るありて、此のところ、一詩無かる可らずであるが、偶、内金剛の景を觀た後に爲ようと思ひつゝ、程なく溫井嶺の頂上に達して此處より振回つて見れば、遙空一碧、日本海の海光を望み、得も言はれぬ好風景であつた。此處が分水嶺の一であつて、其れより細洞に著し、細洞にて再び鮎貝君の一行と出會した。君等は同じくホテルより吾等に遲れて發したが、新萬物相を觀んと欲して、餘りの嶮峻に辟易し、中途より引返したが爲めに、却て後の雁先となり、此處に先著して居たのである。吾等は寧ろ鮎貝君の先見の明を賞したのである。此處より一同俥で末輝里に著したのは、午後五時である。鮎貝君等は、此處に一泊したが、吾等は更に長安寺に向ひ、先づ遷江の上流たる昭陽江の上流を渡り、坂を越えて搭巨里に至れば、既早、日は暮れて、唯、松影を見、水聲を聞くのみである。予が車夫は、後押付にも係らず、腹が減つたと欺ませど懐かせど、動くやうもなく、漸くのことにて、稀傍に來れば、寺より出迎提灯あり、早速その者共に俥を引張らせ、長安寺に著いたのは既に七時であつた。

金剛山スケッチ(八) 前川千帆



新萬物相圖

●大觀艦式期

東京灣に於ける大禮大觀艦式は愈々十二月四日御擧行の事に決定したり(東京特電)

○黑金知事一行

黑金山口縣知事一行十五名廿三日午前九時釜山著同十時三十分發北行列車にて京城に向ふ(釜山特電)

雜報

●御下賜金頒布 各道割當額

七月下旬並に八月下旬豪雨の爲め及び九月中旬暴風雨の爲め朝鮮内に於ける被害尠からざる趣き叡聞に達し天皇皇后兩陛下より金七千六百圓御下賜の御沙汰ありたる旨宮内大臣より通牒ありしは本紙既記の如くなるが總督府にては此通牒に接すると共に被害の程度に應じて各道に割り充て二十二日附を以て通達の手續を了せり其割當て額左の如し

▲京畿道 四百五十圓
▲平安南道 一千五百六十二圓
▲平安北道 一千八百八十四圓
▲慶尙北道 一千百七十四圓
▲慶尙南道 六百九十六圓
▲咸鏡北道 一千六百八十圓
▲江原道 百九十九圓

而して前記各道に於ては金券の受領次第被害民に對し無邊の聖恩を諭示して其れ〳〵頒布す可し

●朝鮮賜杯三萬 賜餐者五千百名

御即位禮の當日天杯下賜の光榮に浴す可き朝鮮内の長壽者は内鮮人を合して三萬一千三百八十一名と註せらる尤も右は二十三日までに於ける當局の調査にして九十歳以上の媼翁數の如きは九月下旬の調査時に於ては八十二名を算し居たるも其後今日までに三名を喪ひたる次第なれば愈々御下賜の當日までには尙ほ多少の移動を免れざる可しと、而して此内八十歳以上二萬八千八百十五人、九十歳以上二千四百十七名にして百歳以上の媼翁は七十九名なり、又た大饗第二日地方に於て饗餐を賜はる可き人員は内鮮人を合し五千一百名なりと

●總督出發期

御大典參列の爲め近く東上す可き寺内總督以下長官等の日取は目下不明なるが寺内總督は共進會閉會式に先ち二十六七日頃出發す可く、政務總監は閉會後直ちに發足の趣きなり而して各部長官、道長官等は何れも來月早々相前後して出發す可しと

●商議總會決議

愈設立準備に著手せんとす

京城日本人商業會議所にては曩に開會したる役員會の決議に基き廿二日午後六時半より臨時總會を開會して新會議所設立準備に關し協議する所ありたり來會する者十九名滿場一致を以て直ちに其準備に著手することに可決し八時會を閉し直ちに協議會を開會したり

▲發起人の人選 協議會の内容は不明なれども聞く所に依れば現在の日鮮兩會議所は現在のまゝ直ちに合併し難き幾多の事情あるを以て兩會議所との交渉を離れて別に京城府の有力なる商工業者中より三十人以上の發起人を選び發起人會を開會し新たに會議所設置の認可申請を行ふと云ふ方法を採ることに略決定し便宜上原田金之祐氏は個人として近々日鮮商工業者中より數名の人々と打合會を開き設立準備に關し發起人の内選を行ふ筈なりと

▲總選擧は來春 斯て三十人以上の發起人を選定し發起人總會を開き當局に認可申請を行ふと云ふ順序なれば當局より設立認可の指令を與へらるれば愈々評議員の選擧に著手する事となるは來春三月頃なるべく尙ほ從來の日鮮兩會議所は精算人を設くるか又は其他の方法により處理すべしと

□共進會入場者

廿二日(金曜日、晴)

▲晝間 八千三百八十二人
内地人 三、〇六四 其他の外國人 一八
朝鮮人 三、三六八 無料者 一、八八六
支那人 四六

▲夜間 三千八百三十二人
内地人 六七六 其他の外國人 一〇
朝鮮人 二、一三三 無料者 九九七
支那人 一六

合計 一萬三千二百十四人
開場以來累計 七十萬二千零八十七人

●山口視察團入京

山口縣黑金知事以下縣會議員、實業家等二十餘名は二十三日午後九時南大門驛著汽車にて入京、共進會其他鮮内各地を視察す可し

●河東碧梧桐氏動靜

慶州扶餘方面の旅程に在りし河東碧梧桐氏は同方面の視察を終へて廿二日夜再び入京したり氏は金剛山行を後日に讓りて廿五日午前十一時五十分南大門驛發京義線列車に搭じ午後二時三十七分開城驛下車一泊、廿六日平壤に向ふ可し尙ほ其後の日程は未定なるも同地視察の上は滿洲に入りて大連より海路歸東す可しと

人事消息

▲伊藤祐武氏(陸軍少將) 二十三日午後釜山上陸午後十一時發汽車にて北行
▲佐藤恒丸氏(一等軍醫正) 同上
▲古城胤秀氏(軍司令部副官大尉) 二十二日內地より歸任
▲河村徹氏(齊海總督府事務官兼參事) 二十三日入京
▲胡襄氏(新任鎭南浦駐在支那領事) 二十三日入京
▲竹屋子爵 二十三日釜山へ
▲井原中尉(晋州憲兵隊副官) 二十三日歸任
▲村井少佐(大阪砲兵工廠) 二十三日內地へ
▲永井技師(仁川土木局在勤) 港灣に關する事務打合の爲め二十三日府を命ぜらる
▲岩井技師(土木局在勤) 釜山中學校寄宿舍新築工事監督の爲め二十二日釜山に出張

南言北語

やいの〳〵で詰めかけてもすべらこべらで鼠の樣な希臘には聯合國も手古摺つて居る▲今度は手を替へて聯合軍は依然サロニカから上陸するぞと脅しつけてもフンともヘンとも答へぬ▲仕方がないから聯合國では思ひ切つた御馳走政略と出掛けた▲君が聯合軍へ參加すれば重要な軍事上の救助もしやう▲其れから領土の擴張にも贊成する▲サイプラス島も差し上げやう小亞細亞の方でもお好みの處を差し上げようと泣き付いた▲が、之で希臘が動くのだろう牝鷄晨を告げて九重の帳中夜未だ深しツアイミス氏は腕を拱いて居る▲其の間に勃、塞兩軍は互に一勝一敗の有樣で久しく戰つて居る塞國では最う男子が戰場へ出盡して廿五萬の婦人連迄が戟を取つて居る▲一擧に露軍を屠つた獨墺軍も南下進擊が何となくはかどらぬ▲但し婦人軍には大分閉口して居るらしい婦人軍なら捕虜にしても野郎よりは役に立つ譯だ洗濯もするし飯も炊いて呉れるからな▲カイゼルが塞爾維人は根こそぎ絕やすと怒鳴つたのも最な事で婦人小供に獨墺軍たるものが大分惱まされて居てはチトお目出度い話しだからね▲お目出度いと云へば支那の帝政投票者の選擧もお目出度い▲選擧資格者は何うして決定るのかまあ官選見たいなものとして▲其れに記名投票と來て居るから大變だ▲劍付鐵砲で護衛が居る前で不賛成でも仕やうものなら首をチョン切らるゝから命がけの仕事だ▲選擧せらるゝ者はお目出度いが選擧するものは頗るお目出度からぬ事おびたゞしい

米價先高說

京城正米

各地商況

○釜山(二十二日の穀物)

仁川米豆取引所

平均値段
一節 八圓九十錢
二節 八圓九十六錢
三節 八圓九十六錢
四節 九圓〆三錢
五節 九圓〆六錢

寄附 八、九八 / 八、九九 / 八、九〇 / 八、九六
止め / 高値 / 安値

松旭齋 天勝一行有樂館に現る

東京を始め各地で大好評大評判の

世界的大奇術師 天勝孃の

魔術「サロメ」は

應用の

奇!! 怪!! 妖!! 艶!!!

……眞に宇宙の大不思議……

外一座皆封切大奇術

鳩と……………

煙草代用 森永ミルクキヤラメル

ポケツト入 大金十錢 小金五錢

松旭齋 天勝孃 大奇術の内に現れたり

變幻極まりなき神技は滿場を唸らせ

森永ミルクキヤラメルの聲と共に

内鮮の嗜好界を震駭しつゝあり

◎重なる奇術 (毎日午後六時開場)

▽滑稽奇術種あかし ▽塔中の美人
▽不思議の扉 ▽サロメ劇
▽音樂の合奏 ▽其他十數番

此の 商標ある 森永ミルクキヤラメルの御愛用を乞ふ

いろ〳〵のニセモノに御注意の上

東京 大阪 森永製菓株式會社

大共進會

樂しい明日の日曜
共進會の陳列品は今が見頃
自轉車大會と菊花展覽會

明日は日曜である、共進會の閉會も間近に爲つた、明日はその僅に殘る開期中の

■最後の日曜 である一番お終ひの日曜日と云へば閉會式の當日であるけれども、日曜の日を一日暢然共進會を見物しようとするには明日を措いては最早無いと云つてもよい、共進會でも明日は日曜日で今までなら入場券が二枚宛要つたのだが、明日は特に平日と同じに誰でも

■一枚で入場 されることゝした、その上に此日は協贊會主催の全鮮自轉車大競走會が東拓館の南の池畔で開かれる、時は午前九時から午後五時まで、全鮮の輪業者が腕に撚りをかけての大競技、選手は

■百五十餘名 で、賞品には協贊會、輪業組合、の兩所から各三本宛の優賞旗が出る、特別寄贈の優賞旗も二本ある、その他副賞品が各方面から山の樣に集つて居るさうだから、その盛況は想像するまでもないその上に慶會樓階下では此日から

■菊花大會が 開催される出品の菊花は今廿二日中に全部集つて陳列も整頓したから明日からは共進會の各館出陳に加へて此の香ゆかしき慶會樓階下の一劃が大光彩を添へ觀客を呼ぶとは云ふまでもなく、その第一日たる明日の賑ひは夥しいものであらう、殊に各館の陳列品には

■審査の結果 が、金牌、銀牌、銅牌、褒狀と一々札付けられて居るので流石に眼にも頭にも除る程の多數の陳列も觀覽の上に一新面目を施して研究的に見物するには頗る便利に爲つてゐるので共進會の見物は何方かと云へば此れからこそ本當の見物が能るといふもの旁明日當は最も好適な共進會見物日であらう

演藝館の呼物

明二十四日は日曜日にて共進會入場券は從來二枚を要する譯なりしが今回は特に一枚にて入場を許すことなれり、因みに演藝館にて呼物の福引も盛況にて二十二日夜は十五錢の入場料に入場したる本町三丁目の岡本某が一等を抽き當て白米一俵を持ち歸りたるが毎夜白米一俵宛を加ふる由なり

秋の一日を
嬉しい運動會
見物のニコ〳〵

空は湖のやうに深く澄んだ二十三日午前十時から京城高等女學校の大運動會は景福宮裏神武門外の

神武門外高等女學校の運動會

■廣い芝生 で開かれた、女學校では今まで毎年小學校と同時に運動會を催してゐたので、斯く獨立して女學校生徒丈の運動會を開くのは始めてゞある各競技は總て生徒の考案に爲るもので各學年とも頭相當に編み出した競技の手際を先生やお客樣に御覽に入れようと云ふ趣向生徒も先生も朝からの運動會日和に喜び勇んで定刻前會場に集り準備が出來る、秋成門から入つて

■神武門の 側に第一受付、會場入口に第二受付、その何れも生徒自ら案内の任に當る、隆文堂の前を貴賓席、隆武堂の下を父兄席として校友や母姉の方々が美しく席に著く十時入口の左側の音樂隊の天幕の中から金剛石の奏樂に伴れて全生徒の合唱があつて成田校長の愉快に快活に併し秩序正しくといふ意味の開會の辭がある、それから同じく全生徒の體操があつてお終ひの體操まで

■二十二番の 番組が順序よく運ばれ君ケ代の合唱、成田校長の閉會の辭があつて散會したのは既早秋の夕陽が赤々と西の方に落ちかゝつた頃であつた、此日競技の中でも掃除競爭、花輪競爭、くす玉、鰈張競爭、月見競爭、高砂競爭等は却々考へたらしい女らしい新しい趣のあるものであつた、又先生達の寶探し、

■卒業生の 提灯競爭、來賓の椅子取り等は主客を轉倒して少女達をキャツ〳〵と笑はせたこと夥しい十四番目の千物競爭があつてから行進遊戲の次に晝食合圖の爆竹が響くと女生徒達は甲斐々々しく來賓の間にお茶だの御辨當を運んで饗應に努めてゐたのも賴母敷見受けられた

△來賓の人垣

鍾路小學校では第二回秋季運動會を二十三日午前八時から同校庭に開いた、徒歩競走やらスプーン競走、救護競爭その他いろ〳〵面白い競爭があつたが美しかつたのは高一女の薙刀體操尋三女の支度競走などで

▽可愛い のは尋一女の色旗合せの競走『あちらの方でもピーカピカ、こちらの方でもピーカピカ』の歌に連れての遊戲等勇ましい尋一男の大球送りと尋四男の帽子取りの團體競技は何れも紅組の勝となり先生の赤白玉全體の綱引などがあつてお晝午後には角力、棒倒し騎馬合戰

▽障碍物 競走などの面白い競爭があつて夕方散會したが校庭の四圍には來賓の父兄で人山を築き時々鐘運番報の競行があつて賑かだつた

△白いユニフォム姿 善隣商業學校の秋季運動會は二十三日の午前十時から小高い丘の續きされた同校庭で催された、二百米突以上六百米突の壯快な徒歩競走の間々に俵送りボール送りといつた樣な競技が挾まれて白いユニフォム姿の各組の生徒は手に手に小旗を持つて各番毎に盛んに振り廻しながらフレー〳〵を叫んで聲援するので頗る賑かだつた

日本一の桃太郎共進會訪問
明日曜の家庭博覽會

△お馴染の安さんは緋縅の鎧でお供

△犬、雉、猿以下お供の人數夥しく

日本一の旗押し立て鬼ケ島征伐の爲め家庭博を

出陣(大行列の道筋は明朝刊を見よ)

△天勝及び天勝一行揃ひの衣裝で來場

△兩券番の舞妓、妓生數十人參加

明日午前十一時より午後四時までに家庭博へ御出で下さい

本社主催優勝旗爭奪戰 全鮮庭球大會は明日
午前八時龍山鐵道コート(新龍山電車終點傍)に於て開催

紫匂ふ譽の優勝旗
知らず明日は誰が手に落つ可き
本社主催庭球大會出場選手の意氣揚る

優勝旗爭奪第七回全鮮庭球大會は愈々明二十四日午前八時より龍山鐵道コート(新龍山電車終點傍)に於て擧行さるゝことゝなれり、當日出場の重なる選手は總督府、遞信局、鐵道局、鮮銀、東拓、京城電氣、三井物産の

▲京城を代表す べき京城ボーイス、龍山代表の龍山庭球倶樂部及び仁川の代表組の外二三地方よりも出場の報あり都合二十有餘組の團隊代表選手が互に秘術を盡して輸贏を決する大競技會なれば朝鮮運動界に於ける第一の觀物なるは云ふを俟たず、殊に今春一回丈休止せることとて各

▲選手に大異動 あり昔驍名を稱へられたるものも今日は勇退せるあり、昔日の年少選手も今は其技老熟の境に入りて侮り難きもあり、又東都其他の一流選手にして今回新たに加入せるものありて其競技の結果如何なる選手が名譽ある寺内總督揮毫の優勝旗を奪ひ去るかは俄かに豫想すべからざるものあり皆

▲今秋の大會に は深き興味を有し居ることなれば明日は非常なる盛況を呈すべし競技場に當てたる鐵道コートは京龍有數の優良コートにして見物席の如きは今回特に鐵道局の好意に由り前後數間取り擴げられたれば觀客は隨意に來觀さるべし

八千二百圓の幽靈小切手
高利貸の奸計=危き所で發見

仁川海岸町三丁目米穀商湊平二郎は京城貫鐵洞韓鎭逵より劉泒植名儀の韓一銀行小額預金通帳交付金額

▲金一萬二百圓 のものを受領し現金の必要に際しては何時にても處分し得る權利を獲得し居れる所どなりたるに湊は昨今至急に現金の入用差起りたるにより入京して預金を引出す運動をなしたるも功を奏せざるを以て本月十五日鳥取縣東伯郡大鴨村大字庄田當時京城古市町百卅九番地にて金貸業をなし居る山木亮助(三九)に就て前記一萬一百圓の通帳を以て金談したる所山木は然らば

▲通帳の金額面 一萬一百圓を八千二百圓にて買收すべしと言ふに依り茲に賣買契約を取濟まし湊は右の通帳を山木に交附したり山木は右八千二百圓の支拂として十月十五日附株式會社百三十銀行京城支店支拂ひ即ち額面八千二百圓の幽靈小切手を振出し之を湊に交付したり然るに湊は至急金員入用の際とて直ちに支拂方を求めんとするに山木は湊に對し只今銀行へ受取りに行くとも預金少しく不足なる故直ちに現金を調達し小切手と引替へ與ふべしと欺き湊をして徒に待たしめ遂に本月十六十七十八の三日間言を左右に託して現金との引替へをなさず仍て湊は詮方なく山木より交付を受けたる小切手を以て百三十銀行京城支店に至り

▲現金の支拂を 求めたるに同店には山木の預金なきのみならず同日午前中山木は同支店に至り其支拂をなさざる樣申込みたる形跡あり右の事情なるより湊は大に驚き十九日午後四時迄に該金を支拂はざるに於ては賣買契約を取消す旨嚴談する所ありしも山木は恬として應せざりし然るに韓一銀行にては本月二十日營業を開始するや山木は右の通帳を以て預金の支拂ひを請求し同行より詐取せんとしたる際同行員に發見せられ湊より其筋に告訴したり山木の百三十銀行預金は三十六圓七十五錢に過ぎず八千二百圓の小切手を振出したるは全く紙細工なりしこと發覺したりといふ

家庭博覽會
笑ひ出すやら鬱ぎ込むやら
李堈公家侍女連の來觀=千代本から上等下駄の寄贈=珍品澤山=福引景品引渡所の喜劇

家庭博覽會の福引は二十二日から特に當り籤五十本を增した上に高價な品物、貴重な品、子供の玩具などをごつさり差加へたため同日からの入場者には福運が降つてくる樣に落ちて

▲非常な滿足 だつたが就中同夜李堈公家の侍女が十人伴を連ねて來觀したが、その中の車夫に

一斗入の白米 が當つたのが大愛嬌の上に煙草やらキャラメルクラブなどが眷に當つたので一同大喜びだつた、その外一二等も大分出たが品物の方では黄海道の人に一抱へもあらうと思はれる

朝鮮釜 が當つて有難いやら迷惑やら判りません、と三人がかりで宿屋へ擔いで行つたのも

▲面白かつた が、洋服を著て金縁眼鏡を光らした紳士に白米一斗入りが當つて僕は旅の者で持つて歸れないから何でもいゝから取替へてくださいと笑ひ出す抔珍談が續出したが兎に角當り籤が素敵に增した事とてよく出た二十三日料理店千代本から上等下駄五十足を寄贈して來たが之れは二十四日から全部籤の中に入るのである

總督來觀

寺内總督は森武官大藤副官等を隨へ二十三日午後三時本社家庭博覽會に來場、社員の案内にて場内を隈なく觀覽せられ至極滿足にて三時三十分歸還されたり

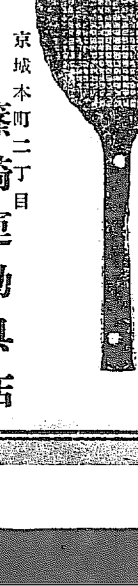
初日滿員御禮 松旭齋天勝一行 本町一 有樂館

商況 東京株式特電 東京期米特電 債券現物特電 深川在米特電 下關 清酒冷御値上 天氣 晴れ一時曇

賞牌受領の出品者記念寫眞は特に大割引にて御需に應ず撮影迅速丁寧種々の便宜
共進會内 東亞廣告塔下 龍山 エム寫眞館出張所
追て共進會褒狀受領の自祝として會場内に限り四割引にて御用命に應じ候

共進會の賑ひ
二十四日 の日曜日は午前九時より午後五時迄正門内大噴水池の周圍にて全鮮自轉車大競走會あり菊花大會は同日より慶會樓階下に於て開催秋晴一日の好遊に適す
當日は特に觀覽券一枚にて共進會の入場御隨意
二十五日 は午前十時より藝妓、妓生數百名の共進會總見物あり百花一時に妍を競ふ、又午後一時半より新舊俳優七十名大假裝行列を催し處々にて演藝を爲す抱腹絶倒奇想天外より出づるものあらむ
京城協贊會

運動具は京城レノサキに有り
秋期カタロク進呈



京城本町二丁目 篠崎運動具店

於物産共進會 金牌受領
平壤本町 杉本猿之助
野菜類栽培

特製支那鞄
弊商店特製支那鞄は上等茶ヅック全部鐵椽にて投げても壞れぬ大丈夫品トランク代用となる
(カケゴ)長サ二尺六寸 深サ一尺四寸 價格(六圓五拾錢)(四圓五拾錢)(五圓)
三尺長サノ羽織入レ支那鞄
其他鞄支那鞄等の形は御注文に應じ如何樣にも調製す
柳行李、トランク旅行用具一切大勉強
鞄製造元 京城本町一丁目(電話一三四番) 高木旅行用具店

◎滿蒙銀と商議
特種銀行設立建議

今後の滿蒙開發は條約に定めたる形式以外尚ほ爲すべき事多々あるも條約の規定に基き土地商租、農業及び之が附隨事業を營まんが爲め農業上にも諸般の施設經營を爲さゞる可らず滿蒙特殊銀行設置の必要は即ち此點に存する事にて同行は土地に對する長期低利の年賦貸附をなすと共に土地債券を發行し滿蒙拓殖の上に資金投下の役目を果たすべき必要機關と目され居るに頃來金融業者の一部又は之が關係者の内より此の滿蒙特銀則ち不動産銀行設置に反對的云爲を試むる者あるより大連商業會議所にては十九日常任委員會を開き他の一二問題と共に本件に關する審議をなしたるが僅に二三者を除き大多數は滿蒙拓殖銀行設置を必要且急務なりとするの意見に一致したれば二十五日更に委員會を開き之が具體的意見を定め之に基く建議書を作製して内閣、貴衆兩院、都督府其他に之を提出し特殊銀行設置の速行を望むべしと聞く(大連)

●元山の大豆
横斷航路と販路　移出不振の原因

滿洲大豆歐洲輸出杜絶の餘波を受け元山大豆も一時稀有の安値を現はしつゝあつたが裏日本對東朝鮮との横斷航路開始と共に漸次好況に向つてゐる、横斷航路は最初生牛の移出のみを試み事業の進運に從つて大豆及び米等の復航物を得る目的であるさうで過般城津港から第一回の生牛移出を行つた際咸興から大豆七十叺を積載した是れは單に牛の食糧に過ぎないのであるが行く行くは數千叺の大豆を移出する筈である北鮮から大豆が盛に移出する事となれば内地及び各地に於て好評を博してゐる元山大豆の聲價が益々高まる譯で横斷航路の開始が早くも大豆市場に好影響を與へたのは當然である、元山大豆と云つても其生産地の範圍は廣いが

▲良品の生産地 は安邊、端川、永興方面である、吉州、鏡城産の大豆は品質頗る粗惡であつたが當局で種子の選擇を斷行した結果現今では形狀色澤等に於ても安邊大豆に劣らない、兎に角元山大豆の名が付いて各地へ移出してゐるものは品質及び調製其他の點に於て確かに他地の産品を凌いでゐる、元山大豆の需要地は主として大阪以西に限られ、朝鮮大豆の格付に於ても元山が首位を占めてゐる、元山大豆の用途は極めて廣いが最も需要の多い阪神地方では浦鹽滿洲地方よりの輸入品は製油原料に供せられ朝鮮産は北鮮及び南鮮産の二種に分ち北鮮産の大粒ものは味噌に小粒は醤油に用ひられ南鮮産は豆腐又は凍豆腐に多く使用せられてゐる、北鮮産即ち元山大豆を

▲滿洲産に比較 して見ると元山大豆は油分炭水化物蛋白質の三者に於て成分が多い味噌醤油に製せられるのを見ても風味好く品質が良好である事が分る併し是れ迄元山大豆の移出が振はなかつたのは船便不良運賃の格高接續積換の際荷傷耕切れを生じ常に直段の引合はざる結果であつたが、今度横斷航路の開始と共に之れに依りて直接目的地に移出するに至らば必ず是等の不便は跡を絶ち運賃も格安となり從來の面目を一變するに相違ない、元山大豆は斯くして其の眞價を發揮するであらう(元山)

最後の一週間

泣いても笑つてもモウ一週間で共進會も家庭博もお終ひになる

いよいよ剩す所僅か七日となつた一度や二度の素通り的見物では眞正の見物は出來ない、まだ見ぬ人は勿論一度の人は二度、二度の人は三度と是非行かねばならぬのは共進會と京城日報の家庭博覽會である、泣いても笑つてもモウ七日過ぎたら見る事は出來ない、最後の一週間!! 此間に見るのが一番爲めにもなり味もある、而も此七日間には共進會にも毎日絶えず催しがある、家庭博覽會にも連日連夜の福引と取かへ引きかへ催しがある、明日と云はず今日只今お出かけなさい、旨いものは宵に食べなくてはならぬ

▲家庭博の福引は愈よ當籤が多くなつた

●兵營敷地醵金
第一回一萬二千圓

大邱兵營敷地購入資金拂込實行方法に就き期成會は二十一日午後五時より大和樓上に於て協議會を開く會するもの六十五名、劈頭會長中江五郎平氏の經過報告あり河井朝雄氏三ケ尻忠吾氏の演説了り全會一致を以つて寄附金契約額六萬圓の五分一拂込に著手すべく決定せしが一方陸軍省には大邱聯隊設置の必要條件は敷地二十萬坪を提供するにあり府民是を諾したるも未だ正式に兵營敷地決定の許可なきは諸種の事情ある可しと雖も實際の醵金結果如何を觀望するに非ざるかとの懸念なきに非ざる今日なれば實行委員は先づ槐より始めざる可らざるを確信し即座に巨額の拂込を了したり此會合の狀況を聞ける府内有志も奮つて拂込みに應じつゝありと

◎慶北水産概況
(二)朝鮮東海岸漁況

▲鯖縛網 毎年十數組の通漁あり全部内地人の經營に係り本年春季の如き一時に多數の鯖を漁獲したり鯖の外鰆、鰹、太魚刀を漁獲し成績良好なり

▲鯖巾著網 縛網同樣内地人通漁者の經營に係るもの二十餘組あり本年の如き何れも鯖を多獲したり

▲鰮地曳網 内地式と朝鮮式とあり朝鮮式は袋を附せざるものにして片手廻となす今や沿岸殆んど本網の備はらざるなく鰮の外鯖鰆雜魚を漁獲す

▲雜魚刺網 鰊刺網同樣朝鮮人固有の漁網にして主として鮍眼張魚類を刺さしめ、鯖の漁期には二反を縫合せ流網に代用することあり

▲雜魚手操網 は朝鮮人古來之を使用し主として鰈、平目魚、鱈の類を漁獲す近時内地人通漁者及び移住漁業者にも使用するに至れり

▲鰆曳釣 は内鮮人盛に從事す之れ漁具漁法簡便にして比較的收益大なるが故なり内地人は漁船一隻に八本乃至十本の曳繩を使用すれども朝鮮人は未だ五六本を使用するに過ぎず沿岸到る處從業船數頗る多し

▲柔魚釣 鬱陵島の主要漁業にして朝鮮に於ける柔魚産額の大部を占め從業船は島根、鳥取兩縣の出稼船と島在住の内鮮人何れも從事し盛漁期に至れば想像外の盛況を呈す今や殆んど終年漁獲するに至れり近時本道近海にも漁獲あること發見せられ漸次從業船を見るに至れり

▲延繩は 鱈鯛の二種を主として前者は鮮人後者は移住内地人之を經營し兩者共に相當の漁獲を爲し漸次增加の傾向あり

▲捕貝潜水漁業 は機械潜水と裸潜水の二種あり主として罐詰製造の原料たる鮑、蠑螺の採捕を爲す裸潜水の多くは三重縣海女にして本年始めて原料蒐集運搬に石油發動機附母船を使用するもの有るに至れり又海女は漁業の餘暇を利用し草履を造りて賣却し相當の收益を得つゝあり濟州島朝鮮海女は主として藻類を採取し乾燥して釜山方面に移送す

▲雜漁業 は鮪鰺、熊手、桁曳、投網、竿釣、鐟突等にして内鮮人主として之を副業となす採捕物は和布、石花菜、文蛤、鮎、鯛、鰤、眼張魚、海泥、貽貝、蛸、鯆其の他の雜魚苔藻とす

●連絡船上陸客
二十二日午前入港新羅丸一二等乘客

一等(十八名)小林俊次郎、渡邊嗣五郎、土橋勝之助、高松市次郎、高垣長三郎、高橋總太郎、村田龜輔、中原嘉吉、秋山徳藏、烏本包一郎、古城胤秀、上仲尙明、赤尾善次郎、外人五名

二等(三十四名)川勝晩之助、弓場辰光、岩城ぼたん、中村au吉、松井伊和太、隈瀨東藏、竹内悅治、久保田藏、深尾きく、高坂みつ子、同一夫、黑野止太郎、村上治、重松與三郎、江見俊、小木傳次郎、吉武辰二、日比野はま子、岡まさ子、同岩亀、松山英太郎、濱田あい、川口くま、森井房次郎、小方忠英、宮崎ふさ、同鎌二、五島たい、同はる、後藤きよ、城戸伍郎、外人一名

三等(二百三十六名)

二十二日午後釜山入港壹岐丸一二等客

一等(四名)伊藤德武、松尾四郎、岡村徹、佐藤恒丸

二等(十六名)鈴木四三、堺豊吉、疋田豐三郎、同とく、同豐治、西村いつ、神保佐兵衛、溝畑□弘、榛瀨愛道、岩橋幸之助、吉村久次郎、松尾讓、竹中多計吉、三宅いく、村岳利三郎、豊田友治

三等(六十五名)

家庭博福引の重なる當籤者

家庭博の福引は非常の興味を以て迎へられ連日連夜の當り籤數千數百に上り一々枚擧す可らず今前回發表後の重なる當籤者を擧ぐれば

三等木町三田巖佐次▲四等咸州通鶴田正雄▲二等咸州通二朴永煥▲四等旭町一石川伊八▲四等龍山大島町黑川ちかよ▲四等黃金町二小城原彥六▲三等蕃松洞普成學校金睦炯▲四等黃金町一龍木きた▲四等利元邑南門劉仁子▲三等本町四市澤均▲四等本町李門郷▲三等玉川洞黃蚴秀▲二等旭町川澤清吉▲四等廣橋洞劉發孫▲二等花洞鄭先鎭塾金順敬▲石炭言逆洞背木滿胤▲三等本町篠崎新七▲四等津郡朴根厚▲四等高陽郡金鳳協▲四等永樂町須古晴知▲四等茶屋町李曾政▲四等龍山佐藤三次郎▲一等大平通樋口吾一▲四等咸州通朴永煥▲一等若草町田中一郎▲四等旭町甲佐久太郎▲四等大平通高川信太郎▲四等蓬萊町佐々雄次▲四等黃金町金榮夏▲石炭槽仁邦鮮人▲二等黃金町今村ますず▲四等工業傳習所李恩峨▲四等京城朴交植▲四等本町石川ちえ子▲三等和泉町小野川庄吉▲四等南大門通松川喜藏▲三等永樂町古追宿▲四等蓬萊町黃天峰▲白米黃金町村みよ▲二等龍山渡邊喜藏▲二等龍山渡邊勝▲四等光化門通趙發晉▲四等大小通小松道藏▲四等岡崎町門源次郎▲四等光化門通李景佐▲三等東大門内安勝吉▲四等黃金町太田焦六▲三等中部長沙洞中村千代▲等架橋洞張道源▲四等平洞李東柴▲四阿觀金德齡▲白米神戸市山根芳雄一等仁川仲町竹内賢三▲二等北拔山吳準玄▲三等慶北館川李鑲州▲南大門大平半吾▲公平洞林世熙▲木浦黃金町鄭達時▲茶屋町李秀永二等朝鮮銀行山中辨熊▲木炭本町西田ふくえ▲木炭茶[illegible]▲三等社稷洞黃文秀▲[illegible]▲四等黃金町小城原正▲[illegible]花南洞中川秀二郎▲白米明治町岡つる

演藝案内

壽町　電話五七八　壽座
鮮明優雅、嶄新奇拔大活動寫眞
□來る十八日晝十二時より夜午後五時より開場
▲新派『人の思』上中下　關根、立花一座
▲舊派『松平騷動』上中下、尾上松之助一座
▲泰西探偵劇『闇黑城』上、中、下

黃金町四丁目　電話二六三七　黃金館
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店

龍山停車場前　電話(龍山)四番　龍光館
十月廿三日より寫眞取替
▲泰西滑稽芝しき下宿人　▲泰西冒險世界的大活劇「鬼の爪」全三卷　▲泰西喜劇國つた婚を經へしパナマ運河實況　▲女丈夫メリー
新派悲劇『漁火』全三卷

龍山　佐久良座
新派『家庭敎育劇』大橋幸太郎一行
第四回目替り狂言(廿四日)
一番目　母の心
二番目　喜劇『玉手箱』
▲先般京城壽座開演の際は多大の御愛顧に預り奉謝候今回内地より招聘に接し御名殘さして御暇乞の爲め特に東京より左の新顔を參加へ候間同樣御引立願上候
△河内彥助　△女優大和日出子　△小森敏一郎　△野州次郎　△勢波次郎
▼特等七十錢、一等五十錢、二等卅錢、三等廿錢
▲五日間限日延なし▼

御成町　電話一九一　御成座
第四十一回替藝題
(一)忍耐　全七場
(二)深山の美人　全五場
大人小人(一人前)金五錢均一增代入らず早い勝
豆場俳優手摺大車輪にて御覽に入れます
生人形御覽に入れます

濱井町　電話八七三番　大正館
當る十月廿一日より寫眞全部差換
○實寫ギリシヤの古跡　○滑稽下男催眠術　▲喜劇牛乳販賣所　▲日活會社專屬腕撰(五卷一座出演)
○新派悲劇『朧夜の頃』全三卷六千尺
▲探偵ニツフイルム會社傑作　○泰西冒險大活劇『大西洋の一夜』五長尺
米國の外交官、海賊を捉へて苦心慘憺、無線電信技手エディス嬢の惡眼早くも之れを看破し、兇の惡人たる外交官の飛躍頭る目醒し、果然洋上の大船は進んと行を阻止し、外交官の危難洋上大船の運命、可憐なる少女苦心に依て如何の解決なかなさんとす
▲名匯目玉松之助得意の新撮影○源平戰史「鬼神太郎」全三卷六十五場

本町一　電話二六六　有樂館
新築落成
當る十月廿二日より同廿六日まで五日間　毎夕正時開館
◎松旭齋天勝一行の大魔術◎
▲先般來共進會前の大喝采を博し尙好評嘖々たる天勝一行來る廿二日より五日間公開せざ「サロメ」と大魔術の外に各種の秘術、眠り封切り來館を御賞覽に供し候
○不思議の扉○塔中の美人○滑稽奇術○音樂合奏○『サロメ』○術種あかし

明治町　電話二六〇番　浪花館
特別大興行
東京落語大一座　桂小南一行來る

酒煙草きらひになる藥

どんな酒煙草のみでも害なく心から嫌ひになる郵券二錢送れば說明書及見本呈
『禁酒丸』『禁煙液』
大澤博士論
禁酒論進呈
大阪市南區
本舖　森田商店

第廿一版
文學斷片
蘇峰　德富猪一郎著
文學とは如何なるものぞ、是れ實に大なる問題也。本書は博大なる著者の文學的感想評論を收めたるものにして、文學社會の風潮、作物の品隲、思潮評論、自然人事に對する感想等、苟も文學に關するもの悉くを網羅せり、斷片と稱すれども、毎編悉く是れ精金美玉たり。
定價金二十錢

第九版
文學漫筆
題して文學漫筆と稱するも、單に文學のみの漫筆にあらず。或は敎育に關する事あり。或は政治に及ぶものあり。而して或は人生の問題に觸るゝものあり。然れども其の歸著する所は、我が國民の性情を陶冶せんと欲するに外ならず。
定價金十五錢

第十二版
生活と處世
人生最も重要なる問題は何ぞや。云ふ迄もなく、當生に處して其の命運と目的とを完全に遂ぐるにあり。即ち人の子たり、父たり、夫たり、將た又市民たり、國民たり、世界の民たる職分を盡すにあり。然らば即ち本書は、此の人生の第一義を講明するもの也。
定價金十五錢

第五版
處世小訓
人間の力は、宇宙の大、無極の永に比すれば實に憐むべきに過ぎず。されど一日の存在には一日の仕事あり、一人の生活には一人の職分あり。本書は敢て高遠行ひ難きの言を弄するものにあらず。唯吾人の世に處して爲さゞるべからざる所を力說したる處世哲學の眞髓也。
定價金十五錢

絶好の精神的食糧

天覽台
世界の變局
蘇峰　德富猪一郎著　定價貳圓五拾錢　郵稅十二錢
是れ近古未曾有の世界大戰爭を秩序的綜合的に觀察したる著者最近の一大傑作にして、世界大勢の變遷推移、列强諸國の合縱分離、各國民族の消長盛衰、主動的人物の企劃經綸、悉く此の中に在り。通篇七章、一百二十五回、菊判六百頁の大冊子にして、世界に於ける我帝國の位置と任務とを力說する所、慷慨悲憤、我大和民族をして警醒奮起せしめずんば止まず。實に國民必讀の一大經典たり。

天覽台
縮刷　時務一家言
蘇峰　德富猪一郎著　定價金六十錢　郵稅六錢
是れ當今の時務に關するあらゆる國家問題、社會問題、世界問題を批判せる著者の國家的世界的一大經綸にして、日本帝國の國是と大和民族の理想とを詳述し、外交、政治其の他のあらゆる問題に關し、我が日本國民を興起せしめずんば止まざる空前の一大雄篇也。通篇六十章、著眼の崇高、議論の雄大、眞に一世を壓倒する經國濟民の大論策也。實に是れ國民必備の寶典たり。

大賣捌所　京城太平通一丁目　京城日報社代理部
▲郵送料本社負擔▼
振替京城三〇〇番　電話六六〇番

至急謹告
李王家の御召に依り昌德宮へ出演仕候に付同夜に限り臨時休演仕り廿五、廿六の兩日引續き開演仕候間賑々敷御來觀願上候
大好評の天勝一行明廿四日
本町一丁目　電話二七七番　有樂館

醫化學器械一式
藥種賣藥卸商
(K)
仁川本町　北島藥店
電話二三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角　北島藥店京城支店
電話七六一番

演藝館の大福引
演藝館の成功を祝し十月廿二日より廿八日迄毎日晝間入場の方(徽章及優待券を除く)に對し福引券一枚を呈し即時現品と引換へます
一等白米、簞笥、火鉢、座蒲團、机、其他以下五十等迄等外共一本も空籤なし
京城協贊會演藝館

演藝館の大福引

大擴張
共進會觀覽者には特に御便宜叮寧に取扱申候
京城南大門驛前　武藏旅館　電話二三六四番

攝津灘　大塚釀造所吟製
京城本町四丁目　發賣元　前田酒店
電話一三七番　振替口座四二五

資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
★
京城本町壹丁目
株式會社百三十銀行京城支店
電話五八番　振替貯金京城一一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

食料品雜貨
食料品
果實
青物
海產物
問屋　岩城馨商店
京城旭町一丁目(電話八四二番)
振替口座京城一〇〇六番
南大門市場卸部

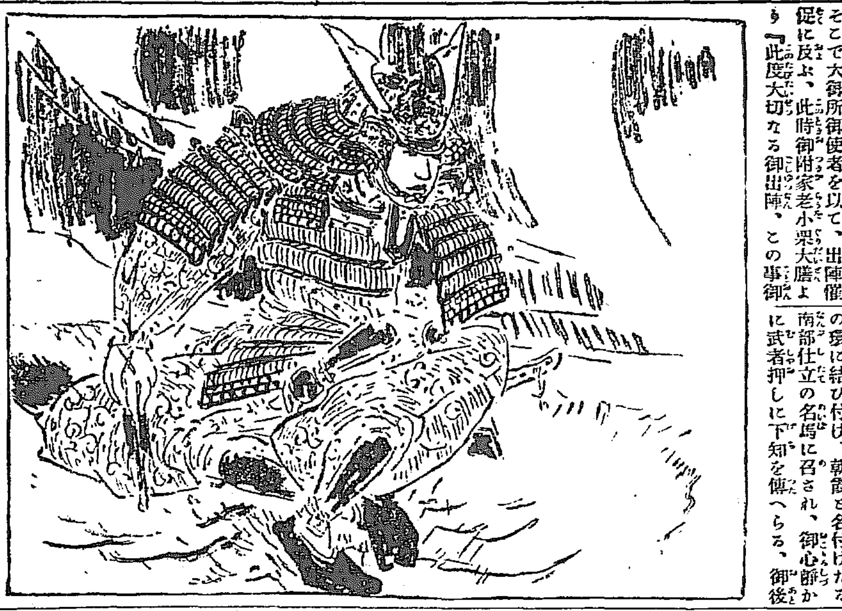
京城公債直取引　二十三日清算値段(前日との比較)
大阪期米特電

越後大評定

第二十二席 早川貞水口演

忠直の出陣

慶長十八年十一月、愈々關東關西御手切、老將軍家康公に於かせられては、自ら戰場を踏んで茶臼山へ本陣を据ゑ、大阪城へ取詰める、それがため越前家も御出陣御用意に及ばれましたが、次で御病氣と云ふことを申し立て、御出陣がない、之を以て大御所には『さては忠直追々成人なして當年二十六歳、父秀康最期の事に何か心を置き、病氣と稱し、出陣いたさぬものと相見えたり』と、そこで大御所御使者を以て、出陣催促に及ぶ、此時御附家老小栗大膳より『此度大切なる御出陣、この事御



見合せある時は、大阪の御戰ひ相濟んだる後、御當家に對し、如何なる御咎めあらんかも知れませぬ、御出陣御用意あつて然るべく』と申し上げる、是非なき老臣の御異見に、然らば出陣すると仰せられ、御出陣になつた人々は、先陣として梶原美濃守、落合美作守、二番手は多賀谷豊後守、朝日丹波守、三番手は水谷丹後守、黒田大隅守、四番手は佐久間上總介、山田大炊頭、五番手は赤尾伊豆守、大隈帯刀、六番手は荻田主馬、山田大膳、七番手は安養寺三郎左衞門入道門齋、八番手は青木新兵衞入道法齋、九番手は御本陣にて、眞先には總白無紋の御旗、四十有餘旒、猩々緋に金糸を以て、正八幡大武神の大幟、紫地に白く葵の御紋の大四半、五色八反の大吹抜、銀の八日月の御馬印、金の蓮小旗を押立て、總大將三位宰相忠直公、その日の扮裝は、金實緋縅の御鎧、同じ毛五枚錣、白星九十四間の金銀筋立、金の菱形の背龍の前立を打つたる甲を猪首に著なし、猩々緋に金糸を以て七星九曜、破軍の星を高縫に致したる陣羽織、これは父秀康公より御傳へにて、鵜の丸と銘打つたる吉宗の御太刀に、虎の皮の尻鞘をかけ、之を横たへ、金の切割六十四枚の采配を鎧の環に結び付け、朝霞と名付けたる南部仕立の名馬に召され、御心靜かに武者押しに下知を傳へらる、御後に從いたるは、孰れも紫の幌を懸けたる使番七十五騎、この使番と云ふのは、黒田の家には黒幌組と云つて廿五騎が御使番、豊臣家には黄の八反の幌を著けたる者が使番、關東には立筋、立浪の淺黄幌を懸けたのが御使番、これは其の當時の習ひで、戰場にて一目見ても、是は何人の使者だと云ふことが知れるように相成つて居ります『愈々御道中御武者押、いとも立派にして、江州守山帆柱觀音堂の前まで『エー、エイ／＼／＼』『ドウーンブウー』一鼓六足の調子と云つて、一つの太鼓に六歩宛進んで行く、今觀音堂の松原まで來て、途端に向ふから二人の御使番が、淺黄幌をかけ、馬を飛ばして來る、是ぞ確かに徳川家の御使者とは、先陣の者が見ました、すると馬を停めて御使番、遙か向ふより致して、今松原へ掛つて來るのは、越前家の御武者押、乘切つても御使番だから構はぬのでありますが、念を入れて『是は越前家の御出陣と相見える、失禮なれども急の御用を被り駿府城まで罷り越す、大御所よりの御使番、伊丹甚兵衞、長坂三郎太郎の兩名、乘切り御免』この時先陣に居りました梶原美濃守より『御念の入つたることなり』と云ふ御挨拶、そこでスーッと兩人は馬で乘切つた。

共進會最上のおみやげ 滋養大關 玄糯 乃木餅 一箱十錢 一箱五十錢 京城本町壽館前 乃木餅屋 電話二七五二へ御注文迅速御届し升

十月二十五日九星 暦 九月十七日 巳 丑 本命八白 艮 平 先勝

▲八白 遊意地に來る亦有日 新事見合乾の方は吉晴朝 良▲九紫 盛況の日 轉居旅行入學名弘求職棟上金件堅升婚禮等萬吉▲一白 一寸一ばい喰はんさす注意新事手控萬事は吉 新取引は用心せらるべし▲二黒 働きのつかめ事有日 新事手控萬事は吉保證諸印等を結ず▲三碧 女難口舌用心の日 新事手控萬事は吉 又散財を防ぐこぼけた事有日 新事手控萬事は吉 又散財を防がるべし▲五黄 散財して損となる事有日 新事手控萬事は吉 倉借の口入等せぬがよし▲六白 大吉 轉居開業入學名弘建築求職婚禮大なる金談等萬吉▲七赤 穏和の日 轉居旅行入門金件求職探索婚禮乘馬を求る事萬吉

皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍 皮黴科 入院隨意（診察夜九時迄） 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

滿洲 五龍背溫泉 ■安奉沿線五龍背驛を距る二丁 ■閑靜にして避暑に宜しく避寒に宜し ■風光絶佳にして一大樂園地なり ■諸病に特効あり理想的療養場なり ■宿泊、下宿、自炊、各樣の設備あり

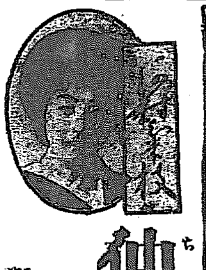
名物 鯛めし 折詰辨當 共進會開期中大勉强 仁川水族館正門前 會席御料理 松の家（電話六二九番） 團隊多數の注文續々有之候に付可成前以て御申込被下度候

優等清酒 一鶴 京城本町參丁目電話六五四番 本莊酒店

仲秋の化粧

秋空晴れて化粧後の清々しさ 四邊に漂ふゆかしい香の快味

帝劇女優 河村菊枝談



△お化粧の季節が來りました。夏の日に焦けました地肌も何うやら落ちつきまして、まだ寒風に荒らされることもムいません袷の時候こそは眞にお化粧の時季でムいます。鏡臺の前に座りますと何處からともなく涼しい秋風が肌觸よく入つて來りまして、思はず知らずお化粧に時を移しますのも却つて心地よいものでございます。殊にレート化粧料を用ゐて居りますと、何とも申されませんゆかしい香が漂うて來りましてお庭の花園でも逍遥て居りますやうな夢心地になるのでムいます。この香も化粧品の生命とも申すもの丶一つでムいまして、それに美容と衞生との目的に適ひますやうに兼ね備はりましてこそ始めて。

△申分なき化粧料と申されます、平尾賛平商店のレート化粧料は此の意味で實に申分がムいませんで實際絶えずレート洗粉で肌を清潔にして乳白化粧水レートで保護して置きますれば常に秋晴の日のやうな爽やかな肌合になりまして如何なお化粧でムいましてもお心のまゝに出來ますやうに地肌が調へられます。白粉下にはレートデエリーを用ゐますと白粉の附伸を助けまして、化粧崩の憂ひは少しもムいませんが、殊に秋から冬にかけまして風が乾いて居りますので、荒性の方には日本人の肌に適ひますこと天下一品と申されろクレームレートを引きますと地肌が柔軟で潤みを帶びて來りますそこでお粧りを致すのでムいますが澄み渡つた秋の大空のやうな

△晴れやかなお化粧を致しますには、附も伸も良く、よく落ちついて活々した化粧薬の致しますレート白粉を用ひますと、上品なお化粧が出來ますばかりでなく、そよ吹く風に送られて絶えずゆかしい香が四邊を滿たす快味につつとり夢のやうな心持になれるのでムいます。レート白粉には濃化粧と襟白粉とに固煉白粉と煉白粉とムいますし、淡化粧には水白粉がムいますが、固煉や煉白粉を溶きますに水を用ゐましては思ふやうに溶けぬことがムいます。石鹸を溶きましてもさうでムいますし水の質が惡くなりますと白粉の溶け具合も宜しうムいません。それにはレート化粧水を溶水に致しますと、白粉の濃さ加減、淡さ加減が思ふまゝになります上に、附も伸も一層良くなつて來ります。また、クレームの上を煉白粉でお粧り致しますと、何うかすると鼠色がかつて見えることがムいますが、そのときにはクレームの上に粉白粉を刷きまして、それからお粧を致しますとそんな憂ひはムいません。

△お顔色の蒼白い方や黒味のある方にはレート自然色白粉と申す肉色白粉がムいましてこれでお化粧遊ばした上を水白粉で淡く粧り遊ばせば本當にお化粧に生氣が出て來ります。尚ほ化粧直しには粉白粉、打白粉、紙白粉がムいますが、また隱化粧に白粧分がなくほんのりと色艶を白く致すレートフードが近頃發賣致されまして斯やうにレート化粧料にはお化粧に應じまして何不足なく揃つて居ります。何も理屈は要らぬものでございまして、實際お用ゐ遊ばして御覽になれば乾度レート化粧料でなければ日も夜も過ぬやうにお成り遊ばすに相違ムいません。秋空晴れた窓際に佇みまして、お化粧の後の夢みるやうな心持よさは、眞にレート化粧料の賜物でムいます。畏くも宮内省皇后宮職各宮家並に朝鮮李王家の御用命を辱うし、且つ內外の大博覽會で金牌を受けて居りますのは、正しくその活きた證據でムいます。

胃が丈夫であれば、腦力も强健になる、頭腦も明晰になる、而して有ゆる活動にも艱難にも容易に堪へ得る樣に成る 胃を丈夫にするには、我陸海軍の五大軍醫が合議して製劑た、健胃劑中の王と云はる丶胃活を服むに限る。

胃病良藥 胃活

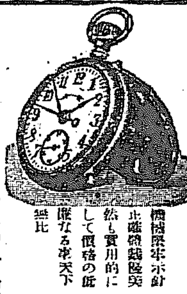
定價 本舖 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房 名藥店にあり

客室親切 可亭 平壤大和町 松岡旅館 電話三〇五番

京城日報社取扱の 萬歲旛 國旗掲揚器 各書籍 其他廣告寫眞銅版等總て本社同樣取扱可申候 仁川濱町 京日仁川代理部 電話二四〇番

支部長 幹事募集 大典記念品獨特無類 月收七八拾圓 希望者履歴書郵券八錢 見本詳報 東京下谷上根岸八八 大日本教育會

新荷着アンクル式片側懐中時計 機械堅牢示針正確裝飾優美然も實用的にして價格の低廉なる事天下無比



十九形	鐵側	一圓九十錢
十六形	同	二圓八十五錢
十一形	同腕時計鎖付	五圓二十錢
十六形	ニッケル側	二圓六十錢
十三平形	同	二圓九十錢
十九形	同(機械表示)	三圓五十錢
十六形	同	八圓五十錢
十八形	同	十圓
十六形	銀鍍金(調刻蓋)	二圓二十錢
十九形	鍍金調刻兩蓋側	四圓二十錢
十八形	銀	八圓五十錢
同	同	六圓八十錢
同	同(銀七寶)	廿六圓五十錢
十九形	同(腕時計)	十三圓八十錢
十七形	金パリ(十年保險)	十八錢
十一形	同	二十錢
十九形	同	廿一圓五十錢
十八形	同 十八金	百五圓
十六形	同	百五十五圓
十九形	同	

右は今回新著の商品にて本商會獨り之を有し他店に無き所のもの伏して御注文の程願上候 御申越に依りては地方遠隔の御注文に對しては代金引換小包郵便にて御送付可申候 追て其他理想的懐中時計及び目覺時計數種取揃居り候

時計、蓄音器、ミシン器械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商 イングレッシー商會 本店 京城本町二丁目電話九七二番

りん病 ばい毒 專門藥房

吾が社は、天下に名の有る、りん病、ばい毒藥ならば如何なる世界の果てにても製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の效力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、別に種も仕掛けもあるのではありませぬ。只世界の有りとあらゆる痳病梅毒藥の長所を採つて改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる痳病、梅毒藥とでも、效力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月三日及七日の京城日報を御覽下さい。●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製貳圓●ばい毒藥一週間分普通壹圓特製參圓●照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り ドラッグ商會滿鮮本部 電話二五六七番 振替京城四六七番 本舖 大阪 合資會社 ドラッグ商會

ベルベツト石鹸

馥郁たる花の如き芳香を含めるベルベット石鹸は化粧用入浴用として最も理想的であります

V.S.B. 製造元 日本リーバーブラザース株式會社

萬歲旛頒布定價表

略號	名稱	品種	調製概略	寸法(曲尺)	一流の價格	郵送料
い	奉祝掲揚旛	甲	金巾製捺染金文字釣金具付	巾一尺六寸 長三尺二寸	六拾錢	十二錢
		乙	同 兩面上製	巾一尺六寸 長三尺二寸	一圓十錢	十二錢
		丙	絹綿交織豊錦金文字釣紐金具付	巾一尺六寸五分 長四尺	五圓	十八錢
		丁	純絹別織同上特製	巾一尺六寸五分 長四尺	八圓五十錢	十八錢
		戊	同 特別製 大形	巾三尺 長八尺	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額		純絹羽二重製金文字	巾五寸六分 長一尺一寸二分	五十錢	三十枚迄拾二錢
は	奉祝佩用旛		純絹羽二重製劍形ピン付	巾一寸三分 長二寸七分	二錢	八百枚迄廿二錢
に	奉祝小旛		金巾製捺染白文字	巾七寸五分 長一尺三寸	四錢	六十枚迄二錢
ほ	特製劍付塗竿		黒塗千段巻竿銀色劍付	長五尺五寸	一本一圓五十錢	十八錢

御大典奉祝用萬歲旛の義製造と運送上の都合に依り愈本月廿五日限り豫約を締切る事に致し候間御希望の御方は此際至急御申込被下度候 追て現品は本町ロシヤ物產商會鐘路韓盛商會及明治町村山商行へ陳列致し居り候間便宜最寄へ御申込被下度候

御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歲旛を掲揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ樣に御注文を希望します

萬歲奉祝會 朝鮮一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

仁川期米

二十三日前場

市場零聞

前場の商戰

▲前場昂騰す

▲形勢一變す

▲受米賣れ行く

▲正米

廿三日の十一月限 十月限 九月限

京城日報
年中無休刊
（第二千九百十一號）
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 樋口政太郎
京城太平通一丁目　發行所 合資會社 京城日報社

朝鮮統治の成績

蘇峯生

第八　基督教問題

對外關係と連亘して、最も困難なる一は、對基督教關係是れ也。韓國政府の舊時に於ては、基督教は、實に小氏の隠れ家たりし也。彼等は基督教徒と稱し、外人なる宣教師よりも、寧ろ宣教師たる外人の力を假りて、其の生命、財産を保持したりし也。其の狡猾者流に至りては、名を基督教徒に託して、其の罪を逃んとし、且つ逃れたるものもありし也。此の如くして基督教は、一種の政治的勢力にして、宣教師たる外人は、政治的勢力の淵源たりし也。乃ち伊藤公の統監たる時代に於てさへも、高限一世に空しき公にして、尚ほ在鮮宣教師の臟心を繋ぐに汲々たりしものあり。物の數にも上らぬ一宣教師にさへ、心を降し、色を柔め、快諾温言、之を應接して、其の及ばざらんことを恐れたる程なりき。復た以て彼等の勢力の尋常ならざりしを知る可らずや。

蓋し如何に福音を宣布すると稱するも、宣教師も亦た人也、彼等は周圍を感化すると同時に、亦た周圍より感化せらる。日本に於ける宣教師が比較的品位を把持するは、日本の文化と、國民の勢力とが、彼等を刺戟し、且つ彼等を監視して、彼等にして自制、撙節せしむれば也。支那に於ける宣教師が、其中には立派なる除外例の存する如く、亦た他方に如何はしき除外例の存するは、周圍の事情、彼等を放つて墮落せしめたるに由る也。朝鮮に於ける宣教師に就ては、吾人は今茲に何等の批判を加ふ可き必要を認めざれども。朝鮮人の或者等が、虎の威を假る狐の如く、彼等の勢力を後楯として、其の匪行を遂げんとするものありしは、決して打消す可らざる事實也。彼の所謂る陰謀事件の如きは、其の一端として見る可きのみ。

そは兎も角も三百十四名の外人宣教師を有し、二千五百三十三名の朝鮮人牧師及び助手を有し、七百卅三の教會堂を有し、一千四百〇三の講義所を有し、十七萬一千九百八十人の朝鮮人信徒を有する基督教が、半島に於ける一種の勢力たるは、盲目漢にあらざるよりは、何人の眼中にも入る可き勢力にあらずや。而して之れに對して内地人の手にて勸化したる日鮮人の信徒は、兩者合して僅かに二千七百餘人に過ぎず。其の布教師は三十人にして、其の教會堂は十八に過ぎず。其勢力の均衡を失するも亦た太だしからずや。

併合當初に於て、外人宣教師の態度が果して優良、醇白なりしや否やは、觀察者の意見に一任す。固より吾人の知り得る限りに於ても、監督ハリス翁の如き君子人あり。惟ふに吾人の知らざる邊に於ても、其類少からざりしならむ。但だ彼等の或者の中には、何となく總督政治が、彼等既得の權利を侵蝕し來りつゝあるが如き感をなしたるもの尠からざりしは、吾人之を否定する能はず。

此の如き勢力に處する最善の方法は、剛ならず、柔ならず、寛ならず、猛ならず、只だ平正、公平、其の中を執るにあり。吾人は我か寺内總督が、此點に於て、殆んど其の措置の間然なきに庶幾かりしを見て、聊か爲めに降慮せり。其の懷柔に傾く者は、却て彼等の私意に徇ふるを辭せず。其の嚴厲なるに至りては、或は動もすれば毛を吹いて疵を求むるに至る。然も我が寺内伯は、朝鮮に於ける基督教を勢力として、之を認識しつゝ、敢て之を畏れず。之を畏れざると同時に、之を無視せず。政治と宗教の區別茲に判明し、今や一萬の外人宣教師來つて、百萬の朝鮮人信徒生ずるも、我が總督政治には、何等の支障なきに至れり。而して彼等基督教徒も亦た教徒としての禮拜、教化には、何等の不自由なきを見る。今は總督政治に謳歌せざる迄も、坐ら其の保護に浴せざるを得ざるに至りしは、彼等に取りても亦た意外の幸福たる也。

大共進會 出品概觀（廿）

二號館（經濟）

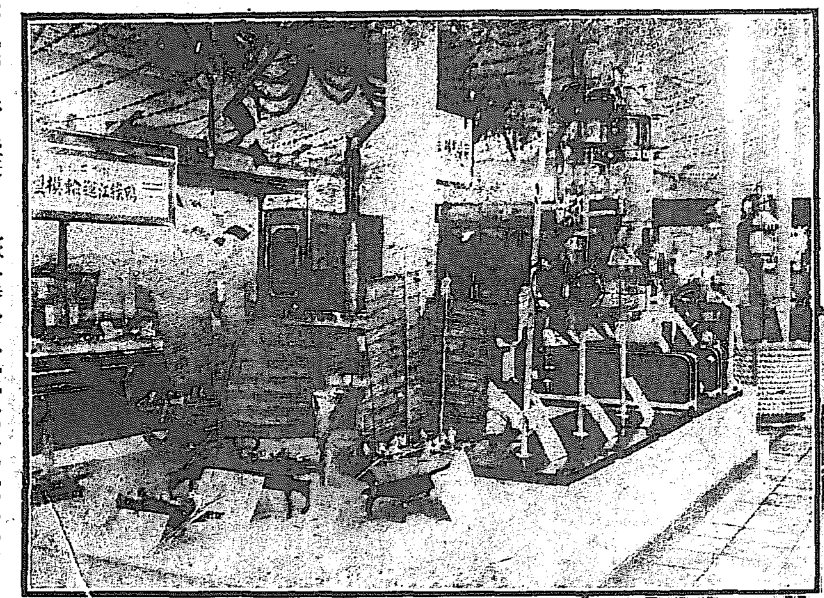
第十部經濟は土木交通部に隣りて中央通路の右側を占め百八十三坪の地積に六百六十六點を出陳す、經濟機關は銀行、地方金融組合、國有地小作人組合、煙草耕作組合、市場等の業務經營方法並に其成績に關する出品にして記述書、統計圖表、模型、寫眞、繪畫、生産物等を以て之れを說明せり、今其主なるものに就き概說せば記述書及び圖表を以て其既往及び現在の業務狀況を現はせる諸銀行中朝鮮銀行は方柱形の金塊模型を作りて明治四十三年より大正三年に至る各年に購入せし純金額を示し且つ一貫六十餘匁の重量を有せる實物大砂金塊を据えて觀覽者の眼を惹かしつゝあり

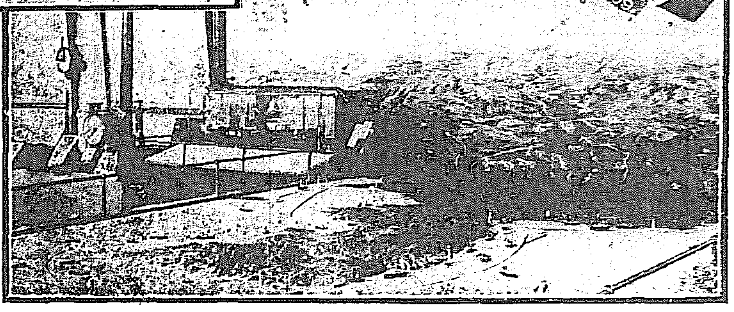
地方金融組合の出品に係る模型は之れを預金、貸金、共同購入、依託販賣、農事指導、金庫保存の六區に分ち電力を以て回轉せしめ組合が營む業務の如何なるものなるやを一見明瞭ならしめたり又京畿、忠南、全北、全南、黄海、平南の六道より成れる地方金融組合共同出品の模型は或は五箇年間に於ける農村の變遷を示し或は組合事務の取扱狀況を新舊對照し、或は組合貸附金の用途を示す等各道其れ〲意を凝らし思を練りて各種の方面より組合効績を示せるのみならず、各組合共記述冊子に其總況を說明し、且つ圖表、寫眞、繪譜、生産物等を以て之れを補足せり煙草耕作組合及び國有地小作人組合も亦金融組合と同じく各組合とも記述、冊子に於て其梗概を說明し多數の圖表、寫眞、繪畫、模型等を以て之れを補足すると共に觀覽者の感興を惹くに努め而して會社、市場、諸組合の業務經營方法及び其成績中

京城電氣株式會社は電氣及び瓦斯應用の諸器具を陳列し尚ほ電車の模型をして間斷なく運轉せしめ居れり

貨幣及び度量衡の內朝鮮銀行の出陳に係る貨幣は高麗朝、李朝及び現代通貨の各種を網羅して其數百四個を算し、紙幣は第一銀行及び朝鮮銀行の發行せる新舊各種四十枚の外參考として若干の外國紙幣を陳列せり、又貨幣に關する圖表は總督府の出品にして貨幣の流通高並に舊韓國貨幣の引揚高を示せるが白銅貨の如き其引揚高の鑄造高を超過せるを尠からざるは奇觀なり

度量衡も亦總督府の出品にして韓國政府時代に於ける度器及び衡器の原器、其他各種の度量衡器を並べ尚ほ觀覽人に自由使用を許す身長計、體量計等を備へ、其他總督府は三十五點の經濟統計を出陳して産業、貿易、金融、財政、物價、賃金、金利等を示し以て朝鮮經濟狀態の發達及現在の大勢を一目瞭然たらしめたり





（上）鴨緑江運輸模型
（下）朝鮮沿海交通機關模型
―共進會第二號館―

閑餘隨錄

大谷光瑞

四、樂（承前）

夫苦とは染著なり執著なり貪欲なり繫縛なり煩悶なり諍鬪なり憤怒なり是を去ては即ち樂のみ樂豈他あらんや心に罣礙なく和順にして憤怒なく身に繫縛なし夫樂に非ずして何ぞや我性山水を愛す雪山大江八寸の皮鞋赴かざるなし寒を欲せば西伯利亞あり暖を欲せば南洋あり四時常春を欲せば印度の高丘あり既に幸に重闢を脫し繫縛なく煩累なく身に伴ふ妻子なく家なく孤身蕭然行かんと欲して能はざるなし既に富に非ず貧に非ず貴に非ず賤に非ず隱淪に非ず顯要に非ず語らんと欲せば天涯到る處友あり又孤獨ならず藜藿厭ふ處に非ず大牢辭する所に非ず紙衣一襲身に纏へば足る天地即衾枕、我身即我家にして優遊自適纖毫の苦なし我其れ人間の至樂を享る者に非ざる乎大般涅槃經に大樂を詳說して終りに曰く一切知故名爲大樂非一切知不名爲樂諸佛如來一切知故名爲大樂以大樂故名大涅槃不名樂如來之身金剛無壞非煩惱身無常之身故名大樂以大樂故名大涅槃一切知とは知らざる無きを云ふ肉身雜食身の能ふ所に非ず唯是に近邇せんとせば讀書自强博覽强記あるのみ不壞身とは生死を超越せる金剛身なり雜食肉身の及ぶ所に非ず之に近づかんとせば唯無病健全あるのみ我性讀書を好み我身常に病惱なし我又是に近づかんとす山水に優遊自適し煩瑣繫縛を離れ讀書以て知を廣くし身常に頑健にして遠く病苦を離る是れ肉身雜食身として享受すべき最上の樂に非ざる乎況んや我既に世に於て大涅槃常樂を證すべき聚に正定す是歡喜の極なり世人の概數十五六億の間に在りと云ふ何人か我に等しき快樂を享受するものありや夫我と樂を同うするもの果して幾人ありや嗚呼我是天地の至樂者なり樂しき哉樂い哉（全部完）

日報俳壇

雉子郎選

旅中吟

汽車過ぎてレールの熱や赤蜻蛉　浦南
繫がれて濡れ居る鷺や秋の雨　同
庭木吹けど眼に靜なる秋の山　同
朝日浴びて巢の蜘蛛眠る稍寒み　同
盗難に遭ふて宿發つ秋の風　同
打つ砧さそふまゝなる愁夢哉　橙黄子
蚯蚓鳴くや針足響く膝の衣　同
檀特花蕾齊開かれ日續き兒　同
供待ちの小僧の喧嘩曼珠沙華　同
蘆や得止めぬ酒に父卑し　東村
寢もやらぬ夜仕事の子や稻の月　同
吾亦紅や襃に居る子等のつゝましさ　同
牛乳の來し氣配に目覺むおそろ寒　山民
藥草を袞る翟ある秋磧　同
物寶に眠る兒覺めし秋の蜩　同
早や盡きし十荷の水や秋の暮　義朗
叱られて泣き出る子や唐辛子　同
露の宿よべ賴みたる馬遲し　韮城
日覆除けて鷄舍の廣さや秋涼し　同
沒まで濁る山の井淺し桐一葉　雲帝
隱遁の志士の餘命や萩の門　同
鰯燒く匂ひ襖の色褪せぬ　廿村
友の句に微笑みてつまむ葡萄哉　同
白う見ゆる新設の驛や蝗取り　鹿中子
朝顏や垣越しに茄子呉るゝ人　同
秋晴や一僧圍む舟の客　沛子
蟋蟀きて骨燃えにけり走馬燈　青扇
桔槹の毀れ直しけり今朝の秋　奇好
農具馬具夜學の室に忘らるゝ　五城樓
渡り鳥島に太古の史蹟あり　丹葉
鴨立つや芦より暮るゝ沼の家　黑天
鬼灯や客間の人を想ひ見る　潮外星
洪州にて
洲の芥掻き寄せて秋の空仰ぐ　吐人
暴徒據りし門は崩れて鬱蹈　曉村
寄らで過ぐ友に書く秋山の驛　雉子郎
紅葉山越え行く車窓雨急也　同
紅卑と見る間褪せ行く秋の雲　同

世界的大動亂の詩的反影

杉村楚人冠先生著
戰に使して

四六判特製頗美装　紙數五百數十頁　定價金一圓六十錢　郵送料内地十二錢

▲口繪及挿畫
◎コロタイプ版
◎ジンク版
◎原色版
◎石版
◎寫眞版
▲二十五葉

『戰に使して』は著者が英獨開戰と同時に朝日新聞より倫敦に特派せられ、滯英約半年の間具さに戰時の英佛を視察したる時の記事なり。先づ筆を昨夏暑を下總の一湖畔に避けて老母と平靜なる自炊の生活を樂める所に起し、突如として社の召還電報となり、渡米となり渡歐となり倫敦滯在となり、佛國旅行、クリスマスより正月にかけて英國田園の視察となつて、其の末遂に白耳義訪問となり、英國皇帝及皇后兩陛下の謁見を賜はりし次第に及ぶ、收むる所約七十餘篇、公報にも表はれず戰報にも出でざる歐洲戰時の光景を叙して人をして身其地に在るの想あらしむ。

東京京橋本石町　至誠堂　振替東京一七四四
〈賣れ行き飛ぶが如し忽四版〉

十月二十五日より
新柄半襟陳列會
新製ショール（肩掛）陳列會
見切半襟賣出し
右三越特製の最新流行品並に格安見切品潤澤に取揃へ御高覽に供し候
京城本町　三越呉服店

收穫用農具其他
京城南大門外　電話長一〇三番
稲扱　籾摺臼　唐箕　萬石　篩　鎌　等
朝鮮勸農株式會社販賣部（電報略號カ）

永登浦　電話長八番
製繩器　製莚器　製莚機　藁打器　及
改良農具園藝用具養蠶製糸器具器械肥料各種
朝鮮勸農株式會社苗圃（電報略號カノ）

苗木種子
櫻　楓　桐　落葉松　栗　櫟　欅　赤楊　ニセアカシヤ
松　ポプラ（ニセアカシヤ種子　栗櫟其他種子）
果樹苗各種　桑接木苗　桑實生苗　其他

今般前記の通り最便利の地に販賣部を設け大に業務を刷新し一層低廉に御用命を承り候間益々御愛顧の程奉願候
京城旭町二丁目　電話長三六八番
朝鮮勸農株式會社（振替貯金口座京城三七八番）

列強大戰

▲砲戰激烈 佛國方面

巴里公報に曰く、アラスの北方ルース、ジヴンシー等の各部落及びリル附近に於て特に激烈なる砲戰行はる佛軍砲列は其砲火を集中して敵の大彈藥庫を爆發せしめたり獨軍はニーの北方及びランス東方に於て新しく猛烈なる砲撃を開始せり（倫敦電報）

▲大膽なる突撃

露都來電に據れば露軍は獨墺軍の中央部に對し最も大膽なる突撃を行ひたり公報に曰く露軍はバラノビッチの東南陣地を占領し將校八十五、下士卒三千五百五十三の捕虜を得たり（倫敦電報）

▲援兵四十萬急遣

英佛聯合軍は四十萬の軍を巴爾幹半島援兵として急遽同方面に派遣することに決せり（紐育電報）

▲新提議 内容 協商側より希臘へ

雅典來電に據れば希臘政府は長時間に渉る閣議を開き協商國の提議を審議せり▲新提議の内容は若し希臘にして協商側に加擔せば優良なる軍事的援助と共に希臘領土をドド附近にまで伸ばしサイフラストゥ及小亞細亞の土地をも割譲せんと云ふに在り（紐育電報）

▲希不承認

倫敦來電に據ればサイプラス島割譲其の他の條件を含める聯合側の提案に對し希臘は目下之を承諾し難き旨答へたり（紐育電報）

▲獨艇誤認砲撃 瑞典潜航艇を

コーペンハーゲン來電によれば獨逸潜航艇はエスタッドに於て瑞典の潜航艇を英國の潜航艇と誤認し之を砲撃し運轉士一名に重傷を水兵一名に輕傷を負はしめたる爲め瑞典艦隊はエスタッドに向け出發せり（倫敦電報）

▲露軍の戰利

タルノボールの北方に於て露軍はノウオレキシネッツ方面の敵陣地を襲撃し將校百四十八、兵士七千五百名を捕虜とし多數の機關銃を鹵獲せり（露都電報）

▲地中艦隊活動

紐育經由ソフィア來電に依れば英國地中海艦隊はデデアカッチを砲撃したりと（東京特電）

◎議員團と總統

日本議員團は小幡代理公使同伴二十二日午後三時三十分袁總統に謁見せり總統は一同に對し予は衷心より今回の來支を歡迎す我支那も明年立法院成立後は續々議院を貴國に派遣す可く斯くて彼我の往來を頻繁にし相提携して福利を增進せんことを希望すと述べたるが議院團も大に滿足して退出したり（北京特電）

◎儲金拂戻難

一時世間を騒がしたる救國儲金は帝政運動起りたる以來恰も火の消えたる有樣にて最初の豫定額たる五千萬圓の半額にすら達し難きこと明白となりたるより預金者は之れが拂ひ戻しを督促し居り而かも之れが拂ひ戻しすら望み難き模樣なる爲め上海市中に於ては一種の投機者流ありて預金額一百元に付き十五元の割にて預金證書の買收を始めたり（北京電報）

◎天恩枯骨に及ぶ

天皇陛下には特別大演習を機とせられ青森縣附近の勤王志士、碩學、鴻儒に對し贈位又は位階追陞の御沙汰あらせらるゝに付き二十八日宗秩寮より發表の事に決定せり（東京特電）

◎帝政變亂防備

國體變更に際し地方に意外の變亂あらむも計られざれば東三省は聯合して防備を嚴にせよと北京政府より命合し來れるを以て段將軍は吉、克二將軍と協議中なり（東京特電）

◎南支方面不況 窃盗頻々横行す

二十三日朝郵船八幡丸にて上海より門司へ着せし某乘客の歸來談に曰く上海にては目下窃盗の横行甚だしく之れ革命黨が軍資調達の爲めなりと傳へらる尚排貨熱終熄後は各地日貨の輸入好況なりされど一般の景氣は其後帝政問題起り近く暴徒蜂起の風説あり各商人の商品仕入は何れも手控への有樣に加へて農作不作なるを以て不景氣たるを免れず（門司特電）

◎中旬對支貿易

十月中旬の對支貿易は前年同期に比し各地輸出入共尠からず增加の勢を示せり尚ほ一月以降の累計に於ても輸出は前年に比し多少減ぜるも輸入は著しく增進せり（東京特電）

◎無所屬議員招待

大隈首相は二十二日正午官邸に無所屬議員を招待し例に依りて首相の挨拶に次いで代表者の答辭あり了つて食堂を開き内治外交問題に就き懇談を交へ午後二時散會せり（東京特電）

◎選擧無効事件

名古屋控訴院に於て繫爭中なりし石川縣知事に對する選擧無効請求事件は二十三日同院に於て原告堀利秋外四名の請求通り三月二十五日同縣下に行はれたる選擧は全部無効とす訴訟費用は被告の負擔とすとの言渡しあり其理由は用紙が規定に反したる物を使用したりといふに在り（東京特電）

◎選擧無効上告

別項電報の如く石川縣の總選擧は全部無効の宣告ありたるに對し被告石川縣知事代理江木衷氏は上告するに決せり（東京特電）

◎金次長の激賞

金農商次長は朝鮮共進會の完備を激賞し寺内總督以下の歡待を深謝し居れり二十三日段將軍の午餐に臨み二十四日歸京す可し（奉天特電）

◎市原氏追悼會

故朝鮮銀行總裁市原盛宏氏の舊友澁澤男、井上準之助、木内重四郎、德富猪一郎其他の諸氏相計り二十二日午後三時神田青年會館に故人の追悼會を催せり會衆八百餘名中央祭壇に故人の肖像畫を安置し綱島牧師の司會に次いで淸浦子爵、澁澤男爵、德富氏等交々故人追懐の辭を述べ特に德富氏は京城にける葬儀の盛況を紹介し朝鮮に於ける故人の功績を稱し五時式を畢り一同築地精養軒に於ける追悼晩餐會に臨めり來會者中内田康哉子、菅原大藏次官、馬越、村井、原、豐川、大谷等の實業家も見えたり聽て食堂を開き德富氏は發起人を代表し一場の挨拶を述べ荒井賢太郎氏は故人が朝鮮經濟界に貢献せる事績を述べ最後に嗣子市原宏氏の謝辭ありて八時過散會せり（東京特電）

雜報

●朝鮮貿易（五）

關稅課長 宮木又七

三、集散狀況

朝鮮貿易品の開港と内地其他諸外國間に出入する徑路は以上の如くなるが更に是等貨物の朝鮮内に於ける集散の狀況に關し一言せんとす輸移入品は便宜上之を内地品及歐米産品と支那産品の二種に區別す、内地及び歐米品は主として内地商人の仕入に係り又在留外人の輸入に係るものあると雖も開港到着後、朝鮮各地への分布に至りては内地商又は鮮商に歸し、直接外國商が地方分布等の商行爲を取扱ふこと稀なりとす而して開港より内地に發送するは奥地商人が輸移入品を開港地に出で來りて自ら仕入を爲すか、又は奥地商人の注文に依り發荷するに依るものにして、是等の貨物は從來の方法に依れば▲各地の市場と稱する取引の機關に依り需用者の手に入るものとす、蓋し市場と稱するものは朝鮮奥地に於ては主要なる商業機關にして各地郡邑の所在地並に郡廳在らざるも稍々人口の多き部落には必ず市場あるのみならず京城の如き朝鮮の大都會に於ても尚ほ市場の存するあり、而して各地の市は毎月五回若くは六回日を定めて開催せられ出市者は附近の住民は勿論、遠きは八九里の地より到る者尠しとせず賣買は物々交換を爲すことあり、金錢の媒介に依ること勿論なるも亦朝鮮に於ける市場の數は一千有餘に上り、大正二年金巾其他の輸入品、雜貨等凡百の貨物授受せられ一ケ年の賣買高全鮮を擧げて五千萬圓の巨額に達し其設置變更は地方經濟に影響する處少からず、而して輸移入品の如きも此市場に於て商人の手に賣渡されて更に開港場に致さるゝもの多し、然れども往昔交通不便の際に在ては▲貨物の運送に多大の日數と勞力を要するを以て開港と是等不便の地とは相互の連絡を缺ぎ、輸移入品の深く奥地に需用せらるゝこと無かりしも鐵道の普及、道路の改修と沿岸航路の發展等に依り、文明の惠澤は山間の僻陬に及ぶに至れり即ち鐵道は近く一千哩に達し、道路は今や一二等及び三等道路を通じ改修したるもの四千百六十里に達し、車馬の往來自由なるに至りたるを以て物資の需給を疏通し運送に要する勞費時間を節減して貿易經濟上諸般の好影響を齎らしたること論を俟たず、交通の狀況斯くの如くなるを以て從來輸移入品の現はれざりし市場にも新に舶來品を見るに至るのみならず、近年内地人の移住增加に伴ひ奥地に店舖を構へて商業に從事する者漸く增加したるが故に、輸移入品は市場以外に此種の店舖に依り需用者に分布さるゝに至れり

◎王妃御買上品

李王妃殿下には過日共進會御觀覽の砌り農業品一點、工業品三點、敎育製作品三點、參考館出品十一點總計四十五點、價格四百八十八圓餘の御買上ありたるが其内工業品は編物、卓子掛、生絹、交織布、各種の紬、朝鮮簞笥、机等にして參考館出品は洋傘、女用洋傘、中裳紬、琥珀等なりき

◎輸入鹽激增 元年度以來の現象

九月中の輸入鹽は關東州天日鹽八百三十七萬一千百八十九斤青島天日鹽三百五十三萬八千六百六十斤山東省天日鹽六百八十五萬一千百九斤合計一千八百七十六萬九百五十八斤にして昨年今日の輸入額三百九十七萬六千六百二十九斤に比すれば殆んど五倍以上の額に達せり、而して一月以降の累計は内地煎熬鹽三萬二千斤、關東州天日鹽三千百四十八萬八千九十斤、青島天日鹽三千百五十七萬七千百五斤、山東省天日鹽六千七百二十七萬二千六百七十三斤、其他五百十二斤、合計一億三千三十七萬三百八十斤にして昨年同期の一億五百三十萬七千二百九十五斤に比すれば二千五百六萬三千八十五斤の增加を示し大正元年以來の輸移入額を算せり

●醫生大會 來會者五百名

全鮮醫生大會は二十三日午前九時より昌德宮秘苑内映花堂前廣庭に於て擧行されたり當日の來會者は各道の醫生は勿論各役員、關係者等六百名に達し堂前大天幕内の會員席は開會に先きだち既に立錐の餘地なき盛況を見たり、時計九時を報ずるや顧問趙子爵開會を宣し總裁李完用伯式詞に次いで醫生の講演を了へ、一先ず休憩を宣して一同午餐を認む、斯くて二時近くに至れば山縣政務總監、立花警務總長、檜垣道長官、秋山參事官等相次いで式場に入り、小宮次官、國分事務官、森安、室谷兩博士等亦參列す此時寺内總督は森武官、池邊秘書官、大藤副官等を從へて臨場あり聽て君が代の奏樂に次ぎ李總裁の挨拶を了れば總督起つて左の訓示を朗讀す

訓示

東洋の醫術は其の淵源する所遠く神農に創まり爾後數千年の經驗と各醫の研鑽とに依りて杏林漸く榮え以て今日に迨べり、故に漢醫の術自から其所長あるは固より可と雖も輓近醫術大に進みて生理の學益々精緻に入り深邃なる學理は高妙なる技術と相俟て日進月歩の趨勢に在り此時に際して徒に舊法を墨守し新智識を求めざれば竟に世運に後れて仁術其用を做さざるに至る可し

予は曩に醫師及び醫生規則を制定し以て其資格を限り人命を誤るの危險を防止せりと雖も是れ唯過渡時代の應急手段にして將來一層醫術を奬勵し之に從事する者の資格を高めむことを期す、凡そ物進まざれば則ち退き止まれば則ち腐す各位は世運の進歩に後れず機會ある毎に新智識を求めて漢醫の短所を補ひ、鋭意仁術の精神を貫徹せざる可からず、茲に醫生大會の擧あるに際し一聯言を叙べて訓示となす

大正四年十月二十三日 朝鮮總督伯爵 寺内正毅

藤波通譯官之れを鮮語に譯して朗讀し醫生總代起つて擧々服膺す可きを誓ふ次いで立花警務總長一場の祝辭を述べ趙子爵之れを解譯し了りて十分間の休憩を宣すれば總督、政務總監等順次退場す斯くて二時四十分再開趙顧問の訓説に續き森安室谷兩博士の有益なる講演あり後來賓一同に茶菓を饗し奏樂裡に午後五時閉會す

●長箭捕鯨振ふ

東洋捕鯨會社にては第一東郷丸、メイン丸、天富丸、ニコライ丸、第五捕鯨丸の五隻に四隻の運搬船を附し江原道長箭の北方約十八浬、海盤島、通稱四時間島近海を中心として昨今盛に捕鯨し居れるが本月二日より十八日に至りて長須鯨十七頭の捕獲あり大なるは體長六十八尺、小なるも四十五尺を下らず本年は頗る好況なりと

●松の實初輸出

仁川港に目下滯在中の茂祥號は京城其他より朝鮮産の松の實を買集め客月下旬千二百斤價格六十圓を試みに上海に送荷せり彼地にての人氣如何によりては再び買入れ引續き輸出する計畫なり

●漢銀派出所新設

株式會社漢城銀行にては今回南大門附近の取引先に對し一層の便宜を計らむが爲め派出所を設置し來る十一月一日より開業することゝせり因に同派出所は蓬萊町に倉庫をも新築し商品に對する貸出をなす由にて來る十一月末頃竣工の豫定なりと

●陸軍關係官廳休業

憲兵隊司令部京城憲兵隊其他陸軍關係官廳にては二十三日靖國神社大祭當日にて何れも休業す

●大和民族南進の唯一路 領有廿年記念臺灣共進會

臺灣總督府民政長官 野呂寧氏談

今更臺灣の説明でもないが今年は領有既に二十周年となつたのだ臺灣が昔は兎も角領有以來の根據地となつてゐた八幡船や倭寇の變化にも正に驚くべきものがある二十年の世の變化を語れば限りもないが一二産業發達の例で其萬般を推するの便とすれば米は二百萬石が五百萬石となり▲砂糖の三億五千萬斤が四十七億萬斤となり水産の二百萬圓が五百萬圓となり金の三十貫が三百貫となつた如き其他多きは十倍少くも三四倍の增加を來してゐる共進會は其二十年間の著しい産業の發達を中外に示し將來の向上發展に資し有識の士の講評を聽き倶に手を執つて南方發展に便せむが爲めなのである換言すれば臺灣が大和民族南進の飛石となつて益々國府の士に力を致さんとするにある從つて出陳物は唯臺灣のみならず支那は楊子江沿岸各港市は勿論長江以南香港、新嘉坡、印度、暹羅、ジャワ、スマトラ、比律賓、濠洲、新占領地等總て臺灣を飛石として向てふべき諸地方、更に▲本土及各殖民地よりの出品物を蒐集し以て比較研究を爲さうとするにある、既に各國領事に囑託して出品並に觀覽を勸誘せしめ更に外國に官吏を派し民間の紳士も各地に活動して出品並に勸誘に奔走してゐる既に比律賓政廳は桑港の巴奈馬博覽會に出品したものを其儘轉送出品してくれる事に承諾し農商務省からも同樣桑港博出品物を廻す事となり其他支那よりも快答あり朝鮮總督府も出品快諾を得てゐる出品承諾のない時は買收しても目的丈けの物は陳列する希望で今日迄の經過は大體に於て都合よく進んでゐる而して茲に聊か當事者の注意を擁つた積りの一事は右各地の▲産物を蒐集するに止まらず其等の土地の需要品も陳列しやうと思つてる事である其地は如何なる産物を出し如何なる商品が需要されつゝあるか其れを一目の裡に瞭然たらしめ樣とする積りであるが恐くて臺灣に於て粵北手を握り益々南方發展に努め樣と云ふのであるから茲に尙ほ一つ各地人士の逸すべからざる機會だと思ふのは共進會開期中（四月十日より五月九日迄）に特に協贊會が一汽船を雇ひ入れて希望者を便乘せしめて南支那、印度支那、南洋諸島を巡遊する計畫である是れは開期中に二度許り巡航しようと云ふ考である而して共進會は本館として目下新築中の▲總督府廳舍を以てし分館として林業試驗場の構内を當てる積りなのだ之と問題は別だが御大禮記念事業として動物園と水族館の新設である動物園は新嘉坡で賣物となつてたのを一萬圓許りで譲り受ける事になつたので圓山（臺北二三）に設置される筈だ今度の始政五年記念共進會が朝鮮を視察するに絶好の機會であつた樣に明年の領臺二十年記念共進會が亦臺灣視察に最上の好機會だと思ふ敢て御吹聽を願ふ所以である

人事消息

▲菊池武夫氏（陸軍歩兵中佐）二十三日夜入京朝鮮ホテルへ投宿
▲黑金泰義氏（山口縣知事）二十三日入京巴城館へ
▲立川二郎氏（大邱覆審法院判事）同上山本旅館へ
▲山田又三郎氏（十八銀行重役）永井重役と共に二十三日入京ホテル投宿
▲井坂孝氏（合社重役）二十三日夜退京
▲スコット氏（英商人）二十三日入京朝鮮ホテルへ
▲ブラウン氏（同上）同上

商況

大阪株式特電

內勤外勤招聘廣告

一、東洋生命保險株式會社（明治町……）
一、中學校又は甲種商業學校以上の卒業證書を有するもの
一、身元證明書、戸籍謄本及京城府内に住する確實なる二人の身元保證書を必要條件とす
御希望の方は履歴書に保證人の住所氏名を認へて左記宛親展にて御申込を乞ふ但し追て當方より御通知……面談謝絶す（事務多用不悪）

十月良日

京城明治町貳ノ五（電話一四六二番）
總監督所主任所長 三須毅

御大典奉祝十一月號

日本少年

▲負ける事が何より嫌ひ……
▲巨彈の下で軍歌を歌ふ……
▲無人島に二十三日漂流……
▲捕虜となり決死脱走す……

聖上御幼時 二色刷 二面用 大頁額

少年滑稽汽車旅行 二人の少年が京都へ行く汽車中で種々の滑稽をする

定價拾錢

實業之日本社

於大共進會

大清一流カステーラは
閑院宮殿下兩殿下御台臨の砌御用命の光榮を賜はれり
君ケ園（羊羹 生菓子）は
名譽なる銀牌を受領せり

仁川新町
大清菓子店
電話一四八番

廣島 山まゆ織

染織堅牢價格低廉經濟的實用品也御注文は小包郵便代金引換を諾す見本進呈
（廣島市革屋町電話六八三番）
山脇周三郎
振替貯金口座大阪一三〇〇番

ポンプは熊平

詳細目錄送呈

京城本町二丁目
熊平支店
電話長六二四番・振替京城二二一番

院長 岡山醫學士 村上德一
內科 小兒科 婦人科
京城醫院
京城本町二丁目（電話七四二番）

大阪三品 二十三日前場

▲二十三日 後場大阪前廿廿二錢 後場二十三錢の入電當地中九圓二十九錢より三十五錢四十錢

▲本日の正物界

廿三日の十一月限

大共進會

晩秋のおぼろ月を賞しつゝ

團子を喰ひ詩を作る廿三日夜の共進會

朝鮮特有の澄み渡つた空に白銀の鏡の如くかゝる舊暦九月十五日の月を只見るには忍びずとあつて、京城協贊會では當夜を『觀月の夜』と名付け此日の共進會夜間入場者に限つて月見團子を饗應することにし月を題に詩歌俳句の募集をもするといふ

▲風流な趣向 に二十三日の夜の共進會は近來に無い賑ひを呈した五時頃から夜間の入場者はまだ月の出るには時間があるけれど、饗應の團子に興をそゝられて波を打つて押し掛ける正門の入口には切溜のお團子を山と盛つたものが數十個積まれ、切符と引換へに一々洩れなく分配される忙しさその團子の數二千串それが、七時半

▲生ひ憎く 月は朧ながら春日燈籠から、光化門、東西の樓閣、噴水、鐵道、東拓の特設館、演藝館等場内の各館のイルミネーションが眩く輝き漢陽公園と東亞の廣告塔の大探照燈が四つ慧星の様に交錯して高く低く光る頃――には全然觀客の手に渡り盡した程の盛んな月見客、場内鐵道特設館や東拓特設館の盛況は勿論のこと郵便局の前には鮮人の

▲輕業の綱渡り の曲藝が演ぜられてゐる、團子片手に之れを取り巻いた見物が一山、演藝館は博多二輪加の十錢均一で階下は滿員、階上も六分の入り、各興業物も相當に客を呼んで居た、賣店の通りや飲食店にも嬉々と笑ひ興じつゝ一家連れ立つた客、子供衆の手を牽ゐたお母さんや姉さんが賑かに語り合つてゐる、かと思へば

▲即興の歌や 俳句を紙片に記して投書箱に投じてゐる詩人がある、苦吟の詩をもの／＼しく協贊會の事務所に持つて行く漢詩人がある九時からは例の水中仕掛花火が慶會樓畔で轟然たる響きを合圖に始められ、赤だの紫だの青だの黄だのと光が白い煙の中を彩り美しう眩しう光り出す遠くに逃げた白鳥の啼聲と池を巡つて垣を築いた

▲見物の喝采 とが爆音と一伴に爲つて天に冲する壯觀、斯くて場内は十時過ぐるまで肌寒むの夜を愉快に徜徉する客絶えず觀月の催しは大成功を以て迎へられた、本日の日曜は菊花大會の第一日と自轉車競走大會で又一しほの賑ひを見るのであらう。

武術大會

滿都の劍客及柔道家一堂に會す

京城武術會の劍道及び柔道大會は二十三日午後警務總監部で催され近來稀な盛會で有た、當日龍攘虎搏の

△大奮闘 を試みし猛者の面々は各警察署、憲兵隊、軍司令部、監獄、學校、養武舘、講道舘研究所、武術會等の人々で午後一時から三時までに選手二十一番の擊劍試合、三時から五時半まで柔道試合、後夜七時まで劍道試合があつた、此日

△來賓には 武術會名譽會長立花中將を始め憲兵隊司令部警務總監部總督府等の高官來場一般の參觀者も頗る賑はつてゐた、先づ柔道の紅白勝負では西大門監獄の山田泰君鐵道俱樂部の松崎清君養武舘の佐藤耕君が美事なる三人抜きを試み遂に白軍は副將及び大將を餘して大勝利を得たのであつた次に肝付五段と河瀨初段の講道舘

△投の形 あり續いて一本勝負の柔道では米倉可笑人君の美事な背負投げ、水守右平君の大外刈、金原三郎君、岡山信慶君、縄手等君の腰投げ、星野萬年人君の巴投げ等が大喝采であつたが其の内一二人の猛者は奮闘の餘りおとされて反りかへつたのも

△御愛嬌 であつた就中養武舘の山本君と講道舘の古谷君、武術舘の清永君と養武舘の吉武君などの試合は滿塲破れん計りの聲援拍手が起た、次には高橋、河瀨兩初段の『五の形』あり終りに三段岡田勝利君に十人掛の勝負は觀物であつた

△猶ほ劍道は 電燈の輝く頃から陣之内鹿雄君と大石虎吉君の大日本帝國劍道形が始まり次で一本勝負には土井爲八君、鶴巻郷郎君、上村忠次郎君、赤斗良一君、澁谷一君等が奮闘した、此他柔道及び劍道共五人抜きの勝利者は寺内總督及び山縣政務總監寄贈の賞品を授與された

警務總監部道場に於ける武術大會

秘苑映花堂前に集まつた白衣黒冠の人々

―全鮮漢法醫生大會の初日―

這回朝鮮に於て初めて試みられた全鮮醫生大會は引つゞき三日間の會合を二十三日から開催した、會場は昌德宮秘苑内の幽邃なる映花堂前に紅白の天幕を繞らし庭前日覆の天幕を張りたる下には朝鮮十三道から來京した約七百名に餘る醫生の人々が何れも揃ひの白衣黒冠で敷莫蓆の上に居座り正面小高き建物の裡には山縣政務總監、立花中將を始め朝鮮貴族、總督府各高官の著席あり猶ほ總督醫院からは森安博士、宮谷博士龍山衛戍病院からは佐藤博士の來會あり場内又丹壁朱殿の下老槐紅葉等の樹影參差たるなど實に近來稀らしき會合であつた、會は總裁の挨拶、諸大家の講演等あり後立食の宴を以て了つたのであるが何分にも朝鮮七百の漢法醫生には非常なる見學啓發となつた會合であらう

鈴木の御前競技

昌德宮のお召

日本一の球突名人鈴木龜太郎氏先年も李王殿下の御前にて其妙技を御覽に入れしが今回又もお召により昌德宮に伺候し御前競技を爲し非常の御滿足を受け又李埈公殿下よりも召されて重ね／＼の光榮を擔たり鈴木氏は茲一兩日滯在の上二三の招聘に應じ或は平壤に一二泊するやも知れず夫より大連に赴く豫定也尚ほ招聘に暇ある限り應じ其妙技を演ずる由

香取艦の椿事

香取艦は海軍大演習の爲め舞鶴軍港にて修理中二十一日午後二時檣三間餘の個所より折れ折柄作業中の木工八名甲板に墜落し重輕傷を負ひ又他の個所に作業中の水兵一名海中に墜落し溺死を遂げたり（大阪特電）

平壤炭坑の奇禍

驟雨に似たる坑口瓦斯の爆聲

技師、現場監督、採鑛所主任語て曰く

二十一日午後四時半平壤鑛業所高坊山採炭所第一坑に瓦斯爆發の椿事ありたり場所は

▲坑口より約十四間を隔りたる坑口の終點にて即死及び負傷後死亡したるもの二名其の他負傷者を出せり原因は未だ審かならざるも岩石破碎の爲め工夫の某なるものが

ダイナマイトに點火せし際導火線より坑口にありたる沼氣が瓦斯に移り爆發せしものか將た亦ダイナマイト爆發の震動に依り瓦斯一時に坑道に出でし時坑口に於いて工夫が密かに喫煙せんとして燐寸を摺り發火せし爲めか其邊のことは不明なるも吉川技師の語る所に依れば多分後者ならんとのことなり尚爆發せし採炭所の現場監督弘田茂九郎氏は曰く自分は最初ダイナマイト

▲爆發の音響を耳 にするや間も無くザアーツといふ降雨の如き音を聞きたり這は正しく瓦斯の爆發と思ひしに依り直ちに地上に匍匐せり其の際自分は死傷者と殆んど接近したる個所に居たるも何等の傷害を受けざりしと又内田採礦所主任は曰く坑内に於ける火氣の取締りに就ては工夫の身體檢査を監督者に於て勵行し工夫の坑内に携へ行くカンテラの如きは礎石を使用せざれば開くことを得ざる裝置を爲し居るを以て之より發火せんとは思はれずと氏も亦吉川技師と同じく爆發の原因を煙草の火にありと推定し居れり（平壤特電）

本社主催 優勝旗爭奪戰 全鮮庭球大會は本日

午前八時龍山鐵道コート（新龍山電車終點傍）に於て開催

日本一の桃太郎共進會訪問の爲め家庭博出陣

家庭博覽會

未曾有の珍行列

日本一の桃太郎が大共進會訪問

お馴染の安さんが緋縅の鎧でお供

おきゝになりましたでせうか、坊ちやんにお孃樣、並びに阿兄樣に阿姉樣に阿父樣に阿母樣、今日（日曜）の家庭博覽會で奇想天外から落ちて來た樣な

■破天荒な催し のありますことを、それはそれは實に抱腹絶倒の面白さ、呀ツと驚くその催し、さて何でムいませう、曰く桃太郎の行列です、桃太郎行列とは何でせうか、皆樣が御承知で在つしやる例のお猿の安さんが共進會中に是非一度見物したいと言ひ出したのですが一旦言ひ出したら中々肯かない安さん人間よりは三本丈毛が足りないと言ひますけれ共、どうしてあの小さな頭の天邊から絞り出した智惠は遂にお主筋の桃太郎さんを曳張り出して自分は、そのお供の大將となり大

威張りに威張つて行列を繰出さうといふ事にして終ひました、乃で此の前古未曾有の珍行列に桃太郎さんのお供をする者は矢張り安さんのお好みとあつて京城中の兩券番から、選り拔いだ美しい舞妓だち、廣橋、茶洞兩妓生組合の最も年の若い妓生たち、並びに社の給仕等の無邪氣な

■少年少女連中 で思ひ／＼に假裝して出懸けます、行列の順序は先づ京城日報の社旗二旒を先頭に立て音樂隊が續きその後ろから桃太郎さんの生れたお里の大盥、育て親の爺さん婆さんが先に立つて御大將の桃太郎さんは立派に飾つた竹馬に乘つたまゝ意氣揚々と眷族の雉子、兎、犬、紙白、栗等を隨がへて出るとその後から京城日報と記した帆を揚げた山車の寶船にいろ／＼の寶物を山と積み帆柱の上には安さんが緋縅の鎧に陣羽織を著け太刀を佩き、兜を背中に吊した物々しい姿で腰掛け一族郎黨中の最勇者として反り返り股肱の臣小林守衛君に護られて進發する後に澤山なお供の面々が從ふのです、此の行列隊は十一時から家庭博覽會の後庭に集まり

■十二時に出發 祝ひとしてカチカチ山の舞臺で中券京城券の姉さん達の地で桃太郎踊や桃太郎の唱歌を歌ひ一時になると爆竹を合圖に正面に勢揃ひをして勇ましく會場を出發、太平通から南大門通を郵便局前の假の陣屋に休息し鍾路を廻つて二時に共進會に御成になり協贊會の中を練り廻つて慶會樓附近で休息此處から引返して明月舘に少憩、三時に御歸還相成るのです行列がお歸りになると直ぐに又兩券番の美しい妓さんの御囃子で踊が始まります、あの剽輕者の怒り屋の安さんが赤い鎧を著てどんなに威張ることでせう、それから、最う一つ天勝一行が揃ひの著物を美しく著飾つて乘込んでくる事になつて居ります二十四日の家庭博は非常な賑ひを呈する事でせう、安さんとお馴染の小供諸君は是非觀においで下さい

安さんの武者振り

今日は自轉車大競走

共進會入場料特に五錢

共進會 演藝館の

晝は 里の風 手振り面白き新曲千として大福引あり 上場餘興

夜は 博多二〇加 二十五日迄抱腹絶倒 入場料 宿換への 十錢均一

京日案内 ◎普通

◎貸金 官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 京城太和町三、不老泉前橋丁 起木屋 793

◎貸家 旭町一丁目乃千關西二階建四間温突湯殿水道付家賃拾五圓 黄金町碇寫眞舘 電話二三三六番 792

◎女店員 數名募集す十三歲より卅歲迄保證人要給料面談 京城本町二 電二七五二番 △乃木餅屋 728

◎賣地 南大門通傳宅地廢地用餘坪御望の方は（電話一〇五番へ）△黄金町 喜多金光堂 760

◎見習生入用 十三歲以上十六歲以下希望者は 黄金町時計御商 喜多金光堂へ（電話一〇一五番）786

◎古本▲雜誌▲新聞 買入 電話 振替 反古（書籍）△京城本町 ウツボヤ書籍店 747

◎女中口入 官舍、商家、旅舘 京城明治町 萬年社 電話一八四四 620

◎番外 明治町ヤソ教會となり 聖行舘 舘長 岡村介行 769

◎咸從特產 平壤栗 種子用 種子苗木 農具商 京城勸農園 電話七〇四番 振替口座京城五六 793

產婆 和田繁 南大門外御成街 795

日本名代 元祖 七味とうからし 七色屋 京城北米倉町南大門通入口 岡本則造 796

◎葬式具道具無料貸し 棺箱骨箱製造販賣 若草町御寺正門前 797

◎はり專門 仁川仲町三丁目 出島忠勝 戎家分院 794

○京城旭町御大師樣內本院

臨時競賣廣告 ドンス、絹中蒲團類紫檀製裝臺及ビ大理石入机澤山出品廿四日正午成行競賣 ○京城競賣株式會社 大橋 787

◎開業 共進會期中特に大割引仕候 京城長谷川町朝鮮ホテル前 高等下宿 客室清潔 庭園あり 中京館 金澤 718

皮膚病 花柳病 專門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二〇三番 566

恩給年金類立替 京城若草町一丁目一〇六非出邸内 電話二二六三番 西村商會 712

新炭 石炭 煉炭 たどん 卸し小賣 諸官衙御用達 京城本町四丁目 稻垣商店 電話一〇九三番 782

支那歐米雜貨品揃 確實安價 京城南大門通一丁目廿二番地 德興泰洋品店 779

賣地及家屋 市内外に有十萬坪有望の各筆に分賣す希望者御來談ありたし 電話二二五番 本町三丁目 森川商店 778

▲樂器買入 右御不用の方は御持參あれ高價買入 中古オルガン バイオリン 京城本町四丁目小路 杉野樂器店 776

內科 小兒科 產婦人科 本町三丁目總監部通突當 今村醫院 電話一八三二番 763

家傳 りん病三日藥 婦人消渴にも特効 至る所に代理店あり 本町三丁目東京救濟院京城出張所 765

◎平壤燒栗 支那やき 燒味京城唯一 櫻井町大正舘前 山下製麵所 電話二三四八番 754

◎入齒 京城明治町一丁目五七 吉崎文作 觀覽人に對し大割引 721

恩給年金類立替 京城永樂町一丁目四十四番地 商品陳列舘前 電話八〇三番 江州屋 709

◎清酒 一升一圓拾八錢 京城蓬萊町一 御用命次第迅速御屆可申候 電話二四一九 長野商店 669

購買入札 一、石炭及木炭 右購買入札希望ノモノハ本日以降ノ總督府官報ヲ見ヨ 大正四年十月二十二日 警務總監部

優良石鹸 都の花 マスト石鹸發賣元 東京 大阪 野村外吉商店

卸 小賣 及 電話2380 振替2669

千生瓢（21）

須藤南翠作 筒井年峰畫

雪消（六）

「仰せ一應御尤おざる。去りながら」九郎左衞門はする〳〵と膝行り寄つて、勉めて聲を低めた。

「柴田殿は萬松寺殿以來の宿老、殊に御市殿に配はるゝ上は、御一門格におざる。北陸道總奉行ならずとも、織田殿恩顧の殿、之に離反は相成るまじき儀おざり申す。さればとて、羽柴殿とは藤吉郎の昔より、互ひに許し許された魂合へる親友の御間、信を磐石より重しとし、義を金鐵と守らるゝ殿、何として鉾執つて立ち向はれ申されうぞ。懸る苦境に在はする殿の、此御惱みだけにても、御病氣は當然かと、憚りながらこの九郎左、御推量申し上げまする」

利長は軍扇を膝に立てゝ、靜かに耳を傾けてゐる。

「鬼柴田の名は、日本國に響き渡つて、亮殿の名を呼ぶ時は、泣く兒も默ると申しまする。結雁金の旗、金幣束の指物は、鬼神の如く懼るゝこと、之に及向ふ敵ばかりでおざらぬ。虎の如く怖ぢ、狼の如く忌むげにおざれど、九郎左が見る所は、是れ亮殿が一面を見て、他の一面を知らざる者と存じ申す。若殿いかに御賢慮在はすぞ」

斯ういつて凝つと目を注いだ。利長は莞爾笑つて。

「弱輩な利長式、何とて老將を視る目があらう。おやぢ、百戰百勝の意氣盛んなるため、傲慢にならればせぬかと思ふ事もあるぢや」

「傲慢、いかにそれおざりまする。」

「羽柴殿に對して？」

「但し筑前殿に對されてぢや」

「正しう羽柴殿に對されては、人も無げに振舞はるゝ。傲慢不遜に過ぎなさるゝ。何故かと申す事は、我等一向存じ申さぬ」

「麾下の諸將、部下の將士は、何とあらうな」

「餘人な存じ申さぬ。當殿に對せられては、信義を以て交はらるゝ事、故右府御在世の砌と、些の相違もおざり申さぬ」

「民百姓の課役、物成の取立、それ等は何うぢや」

「それおざりまする。誠それおざりまする。若殿、聞させられへ。越前一ケ國は、朝倉殿を守護に頂き、數百年住み來つた者おざります。隣國加賀の本願寺門徒と兵を構へ、八十餘年を甲冑に送つた者おざります。柴田殿所領となつても、猶家々に甲冑を藏し、手熟れの打物、弓、鐵砲を用意しておざつたぢや。柴田殿領せられると、早速この甲冑打物を沒收せられて、鎌鉈斧の外、百姓の刄物は嚴禁せられた。是れ暴政おざりませうか」

利長は何とも言はなかつた。九郎左衞門はまた問うた。

「若殿、是に渡らるゝに、九頭龍川を越させられまいたか」

「いかにも越したわ」

「船橋を渡させまいたか」

「それ渡つたよ」

「人馬も樂々と渡りまいたな」

「いかにも平地を行くやうに」

「あの船を繋いだ鎖、これが民百姓の甲冑打物おざりまする。橋無き前まで、激流に溺れて、死する者幾百人、其人命を救ひ、行通を安全にする、是れ仁政おざりませぬか」

「いか樣、な」

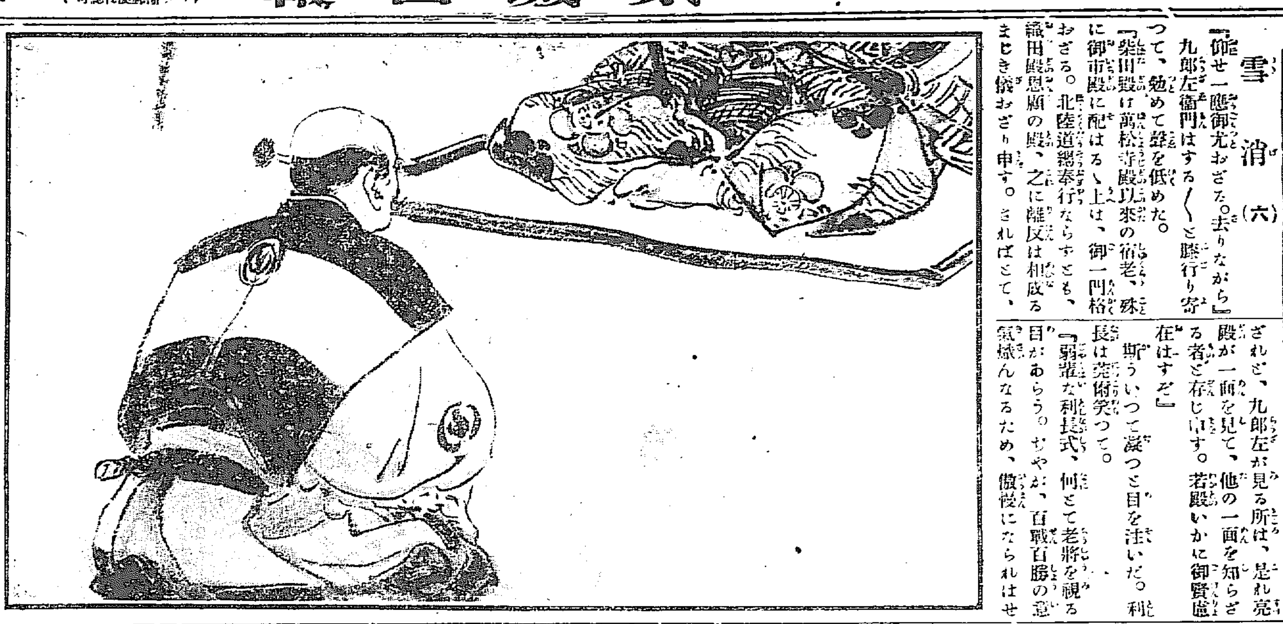
利長も遂に首肯かされた。九郎左衞門はまた問ひを發した。

「北庄の九十九橋、あの足羽川の大橋、半は石の柱、半は木の柱とせられたのを何と御覽なされた」

「籠城の時斷つ爲に、北庄の方を木としたものと見たわ」

「足羽川には瀨がおざる、籠城に橋を斷つ、それ無益ぢや。誠あれこそ洪水の備へ、柱を流して流水を疏し、後に作事を起すとも、半の費用にて舊に復し、民の課役を減する爲と御坐る。事少なれども、民を憐む心なくして、こゝに用意の屆き申さう。猶問ひ申す、君の召さるゝ紬、それ何處に出來まいたな」

九郎左衞門の問は、綿々として續くのであつた。



三味噌 五十年來家傳製法 需要者と製造元との接近は現代の要求なり…電話にて御注文被下候はゞ直樣御届致し升… 京城太平通二丁目 遠藤商店 電話[illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も迅速と可成親切を旨とし御需めに應ず 京城日報社 寫眞製版部

胃病新藥 マーゲン 胃病快治法 特約店 京城南大門通二 新井藥房

◎麻病梅毒療法に付て
▲醫術の進歩に伴ひ麻疾治療法は諸大家の競て研究し内服藥は勿論洗滌法注射法等種々立案あり今尚未だ完全なる結果を見ず猶も學者間研究中なり然るに本舗發賣の治麻藥は昨年二月以來今日迄數千の患者に付實驗せる所實に百發百中とも謂ふ可き成績を現はし且つ多數の醫師に於ても本劑を專用するもの次第に増加するに至れり殊に本劑は醫藥界に於て麻疾特効藥として雷名高き『ボロウヱルチン』『Oleum…』並に『サンタール』油に當舗秘傳の治麻藥を配劑調製したるものなれば他に比類なき良劑にして本舗の誇る所なり患者諸氏は世間に安價なる山師的製品に注意せられよ…

治麻藥 一週分カフセル五十個入 金一圓二十錢 二週分同百個入 金二圓二十錢

治麻球 一週分カフセル五十個入 金六十錢 二週分同百個入 金一圓十錢

◎梅毒秘密療法に付て
▲梅毒療法の種類を舉ぐれば（一）六〇六號注射療法（二）水銀劑注射療法（三）塗擦療法（四）吸煙療法（五）各種内服法以上六種にて六〇六號が一番効能あれど危險を伴ひ…

根治丸 一週分 金六十錢
擔任藥劑師 中島義次 助手藥劑師 渡邊力
京城南大門通四丁目 救世藥館 電話二五九三番 振替口座二二六八番
『良藥』『製丸』『製藥』製造の依賴に應ず

新刊書御案内

書名	著者	定價
列強の外交政策	蜷川新	一、五〇
人物と事業	横山健堂	一、〇〇
增訂和佛和辭典	野村泰亨	二、〇〇
うねうねり	晶子女史	一、六五
花より實をとれ	嘉悦孝子	一、八〇
最新養鷄法	中村孤月	一、三五
アマゾン探検記	中村直吉	一、〇〇
朝鮮より	宮原綱村	一、五五
朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
粘土細工樂燒製法	松村潤吉	一、四五
道草	夏目漱石	一、五〇
俳諧新五萬句	伊達林鶴	一、八〇
女人國記	禿氏岳山	一、二〇
江戸時代史論	歷史地理	二、四〇
現代教育者眞生活	稻毛詛風	一、九五
醒めたる女	逍遙博士	一、〇〇
ブラジル移植民	伊東[illegible]	一、九五
をりをりぐさ	[illegible]	一、三〇
接吻の後	紅雨女史	七五
地獄	江馬修譯	七五
日本農業道德論	宮武[illegible]	七〇
井上英和大辭典	井上十吉	二、五〇
新譯獨和辭典	登張信一郎	一、六〇

大阪屋號書店 京城本町電話一〇八六番 振替京城二五七二

瀨戸皮膚科外科醫院 旭町二丁目（舊三丁目） 醫學士 瀨戸潔 診察夜九時まで （電話二四九八番）

浮石鹸を召さるゝお方は何時でもホーム計りです
實際ホーム浮石鹸は品質が特別に宜しくして、四季の化粧衛生に適する、御家庭向の徳用石鹸です。

製造元 東京日本橋區 長瀨商會 大阪代理店 大阪安土町 大崎組商會 大阪代理店 博勞町 仁壽堂分店

共進會の賑ひ
二十四日の日曜日は午前九時より午後五時迄正門内大噴水池の周圍にて全鮮自轉車大競走會あり菊花大會は同日より慶會樓階下に於て開催秋晴一日の好遊に適す 當日は特に觀覽券一枚にて共進會の入場御隨意
二十五日は午前十時より藝妓、妓生數百名の共進會總見物あり百花一時に妍を競ふ、又午後一時半より新舊俳優七十名大假裝行列を催し處々にて演藝を爲す抱腹絶倒奇想天外より落つるものあらむ
京城協贊會

滿洲へ往く人のみやげは大連で 支那の翡翠、硯、書畫、骨董に限る
大連の方外軒は之を廉價正札に賣る方外軒は北支那第一の支那專門骨董店にて新時代ぶりの正直確實と云ふ定評を受け居れり

於物產共進會 銀牌受領
鐵工業 改良農具製作 中田鐵工所 平壤黃金町
受賞の備中鍬は田畑の耕耘に必要缺くべからざるものにして弊工場獨特の考案に係るものに候御註文を乞ふ

京城壽座前 太平堂名刺舗 電話三七二 振替三三六七 地方は郵送料不要

◎松田式ポンプ 灌漑用 家庭用

御申越次第目錄送呈 朝鮮一手特約販賣 京城本町二丁目 釘本藤次郎商店 電話長四五番二七七四番 振替京城二五六番

明治足袋 東京 三宅商會本店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 秀吉丸 十月[illegible]日 午後四時出帆 / 君が代丸 十月廿七日 午後四時出帆 / 神代丸 十一月[illegible]日 午後四時出帆 / 大有丸 十一月[illegible]日 午後五時出帆
○群山、大阪行 第二太湖丸 十一月[illegible]日 午後四時出帆
仁川海岸通 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 十月廿六日 午後五時出帆
○元山城津浦鹽行 小倉丸 十月 日 午後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十月 日 午後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 立神丸 十月廿八日 午後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月 日 午後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十月 日 午後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天兵丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行 第十八共同丸 十月廿四日 午後二時入港 十月廿四日前九時出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送御取扱仕候 大連にて青島行定期船に接續商客共御便利
と同額運賃にて通し輸送御取扱可仕候
第一阪鶴丸（元山出帆） 城津、清津、浦鹽行 十一月四日 午後九時出帆
第三共同丸 西湖津沿岸各港を經て雄基行 十月廿四日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社 仁川代理店 本町一丁目 山下回漕部 元山代理店 田口回漕部 京城取次店 南大門 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航線航路（遠洋航路を除く）御乘船の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候
×○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行 須磨丸 十月廿七日 / 温州丸 十月三十日 午後五時出帆
××○木浦、釜山、長崎行 ▲は鐵原料の都合に寄港 安東丸 十月廿四日 / ▲天智丸 十一月二日 午後二時出帆
××○鎭南浦、大連行 安東丸 十一月五日 / 天智丸 十月廿八日 午後二時出帆
○○鎭南浦、關門、神戸、大阪行 月 日 正午五時出帆
△△○群山、釜山、横濱行 千珠丸 十一月一日 / チヨイサン丸 十一月十四日 午後四時出帆
○大連直行 千珠丸 十月廿七日 / チヨイサン丸 十一月八日 正午出帆
○清津、浦潮行（元山出帆）▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港 地久丸 十一月九日 / 神宮丸 十月廿九日 / ▲城津丸 十一月四日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆） 基隆丸 十月廿九日 / 安平丸 十一月六日 午後四時出帆
御注意 ○朝鮮鐵道及京義線鐵道會社との聯絡切符發賣仕候 ○御乘船客は本船出帆約一時間前御乘船相成度候 ○×印は一等客御斷り
仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二番 二二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆
○大連、大沽、牛莊行 三河丸 十一月八日 正午出帆 / 相模丸 十月三十日 正午出帆
○大連、太沽行 高砂丸 十一月廿二日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 堀回漕部 電話十番

朝鮮郵船
本社 電話長一九五 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店
全羅丸 十一月四日 / 京畿丸 十月廿五日 / 黃海丸 十月廿九日 / 咸鏡丸 十一月八日 門司より釜山各港寄港雄基間ごと 釜山發
昌平丸 十月廿四日 / 鏡城丸 十月廿六日 元山より各港經由雄基行 元山發
能登丸 十月廿四日 / 忠清丸 十一月一日 城津、清津、浦鹽行經由釜山經由門司 元山發
永興丸 又は長崎延長 北久味、五里浦行 毎月廿八回 元山發
嘉島丸 十月三十日 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行 釜山發
江陵丸 襄陽丸 毎日 長生浦、方魚津寄港（釜山、浦項）發
三浦丸 十月廿七日 長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行 釜山發
海州丸 巨濟丸 杭營丸 慶賢丸 毎日 各港經由麗水行（三日目一回木浦行） 釜山發
順天丸 三日目毎 各港經由麗水行麗水より釜山行に接續 木浦發
慶興丸 十月廿四日 各港經由濟州島行（西廻） 木浦發
公州丸 十一月二日 南多島海列島行（月三回） 木浦發
宗信丸 十月廿九日 海州他各港經由、鎭南浦行 仁川發
江原丸 十月廿五日 芝罘、大連、青島行 仁川發
飛水丸 十月廿九日 / 晋州丸 十一月二日 各港經由木浦行 仁川發
全州丸 南陽丸 毎日午前 江華島、喬桐島、海州行 仁川發
平安丸 十一月十六日 群山發 / 十一月十三日 若松發 往航大黑山、木浦、門司 復航門司、木浦、群山行